

**板橋区シニア活動推進計画高齢者ニーズ調査
(インターネット調査)
報告書**

平成 29 年 3 月

板 橋 区

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査実施の目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 調査方法.....	1
5. 調査項目.....	1
6. 回答結果.....	2
7. 調査結果を見る上での注意事項.....	2
第2章 調査結果の詳細.....	3
1. 回答者の属性.....	3
(1) 性別・年齢.....	3
(2) 兄弟姉妹の有無.....	4
(3) 未既婚.....	5
(4) 就労状況（収入を伴う仕事）.....	6
(5) 介護保険制度の認知状況.....	9
2. 介護経験（現在、見込）.....	10
(1) 家族等の介護をする見込み.....	10
(2) 介護をすることになると思われる相手.....	12
(3) 家族等への介護における考え方.....	14
(4) 家族等の介護をすることに不安を感じるか.....	16
(5) 介護について、どのような点に不安を感じるか.....	18
3. 介護と仕事の両立についての考え方.....	21
(1) 現在の勤務先で介護の相談をする相手.....	21
(2) 家族等の介護をすることになった場合、仕事を続けることができると思うか.....	23
(3) 介護離職を避けるための条件.....	25
(4) 介護や家事を支援してほしいと考える人.....	28
(5) 介護をしながら仕事を続ける上で不安に思うこと.....	30
4. 各種制度等の認知.....	32
(1) 介護保険について知っていること.....	32
(2) 地域包括支援センターについて知っていること.....	34
5. 退職後の暮らし等.....	40
(1) 何歳まで働きたいか.....	40
(2) 退職後の暮らしについての考え.....	41
(3) 退職後の地域の集まりや地域活動への参加意向.....	43
第3章 資料編.....	46
1. 調査票.....	46

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

高齢化の進展に伴い、何らかの支援や介護を必要とする高齢者が増加する一方で、そうした支援を必要としない元気な高齢者（以下、「元気高齢者」という。）も増加している。豊富な知識や経験を有しているこうした人たちは、今後の超高齢社会において、さまざまな分野で活躍することが期待されている。

そこで、板橋区における元気高齢者に対して取り組むべき施策の方向性を示し、事業を体系的に取りまとめた「(仮称)板橋区シニア活動推進計画」の策定に資するものとして、元気高齢者の生活実態や健康状態、また、就労の状況や生きがいなどについて現状を把握する「板橋区シニア活動推進計画高齢者ニーズ調査」(郵送調査、インターネット調査)を行った。

本報告書は、このうちインターネット調査の調査結果について取りまとめたものである。

2. 調査対象

①調査対象者

板橋区に在住の、45～64歳のインターネットモニター（平成29年1月1日現在の年齢）

②対象者の人数および抽出方法

調査会社が所有するインターネットモニターのうち、区内在住者2,123人を抽出し、回答を依頼した。設定したサンプル数は下記の通りである。

図表 1.2.1 調査目標数

	TOTAL	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳
TOTAL	500	70	200	150	80
男性	250	35	100	75	40
女性	250	35	100	75	40

3. 調査期間

平成29年1月20日（金）～1月24日（火）

4. 調査方法

調査票はインターネットによる依頼・回収を行った。

5. 調査項目

- 介護経験（現在、見込）
- 就労先の介護等支援制度（認知、利用状況）
- 今後の仕事への影響の見込み
- 介護と仕事の両立についての考え方
（就労継続・離職の可能性）、就労継続のための条件（対勤務先、家族、制度、等）
- 介護離職防止に向けた意識・備え

6. 回答結果

インターネットモニター2,123名に協力を依頼し、うち559名から回答を得た。

図表 1.6.1 回答結果

	TOTAL	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳
TOTAL	559	82	221	165	91
男性	279	40	113	80	46
女性	280	42	108	85	45

7. 調査結果を見る上での注意事項

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 集計表の割合は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- 回答比率は、その設問の回答者数（集計表では「TOTAL」と記載）を母数として算出している。そのため、複数回答の設問では、全ての回答比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 属性情報とは、インターネットモニターの登録情報を指し、今回の調査での設問には含まれないが、調査結果の分析に用いている。具体的には「未既婚（結婚している／結婚していない）」を使用した。

第2章 調査結果の詳細

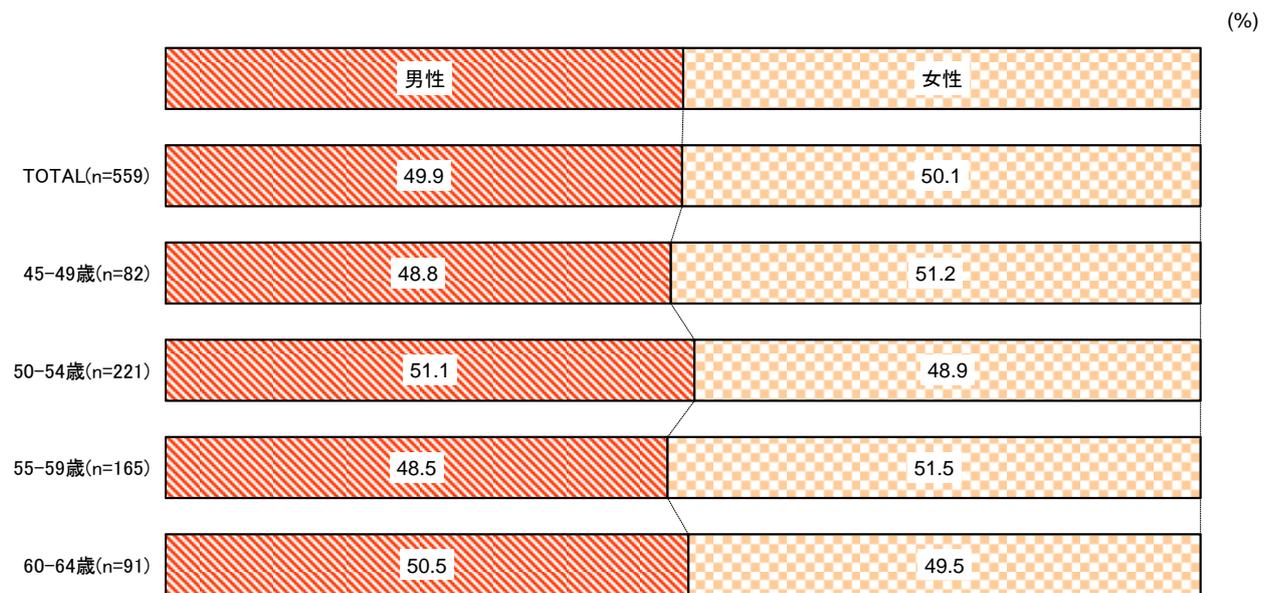
1. 回答者の属性

(1) 性別・年齢

Q1 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

回答者は男性が49.9%、女性が50.1%となっている。

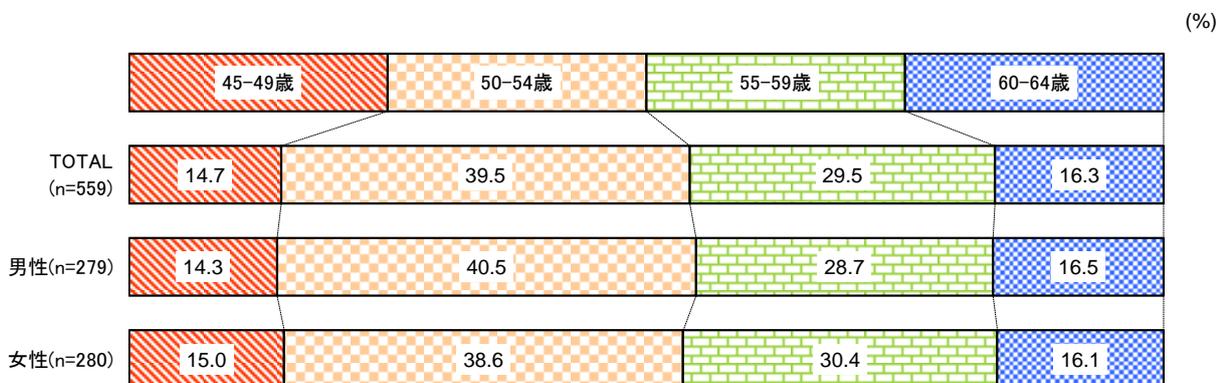
図表 2.1.1 回答者の性別（年代別）



Q2 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢は、「45-49歳」が14.7%、「50-54歳」が39.5%、「55-59歳」が29.5%、「60-64歳」が16.3%となっている。

図表 2.1.2 回答者の年齢（性別）



(2) 兄弟姉妹の有無

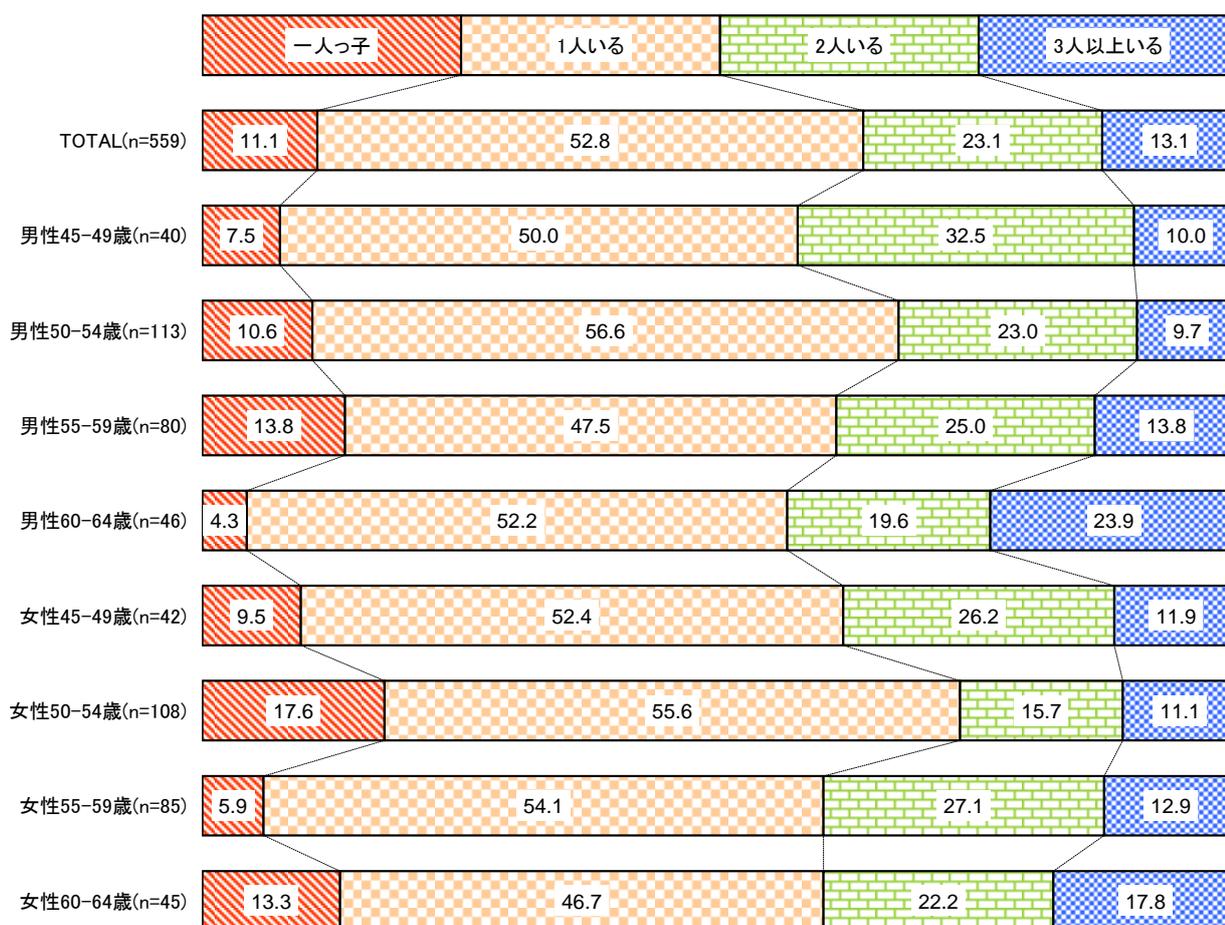
Q3 あなたには兄弟姉妹はいらっしゃいますか。(回答は1つ)

「一人っ子」は11.1%で、兄弟姉妹のいる人が9割弱である。兄弟姉妹の人数では、「1人いる」が52.8%と最も高く、「2人いる」が23.1%、「3人以上いる」が13.1%となっている。

性年代別でみると、男性60-64歳では、「3人以上いる」が23.9%と高く、また、女性50-54歳では、「一人っ子」が17.6%と高くなっている。

図表 2.1.3 兄弟姉妹の有無（性年代別）

(%)

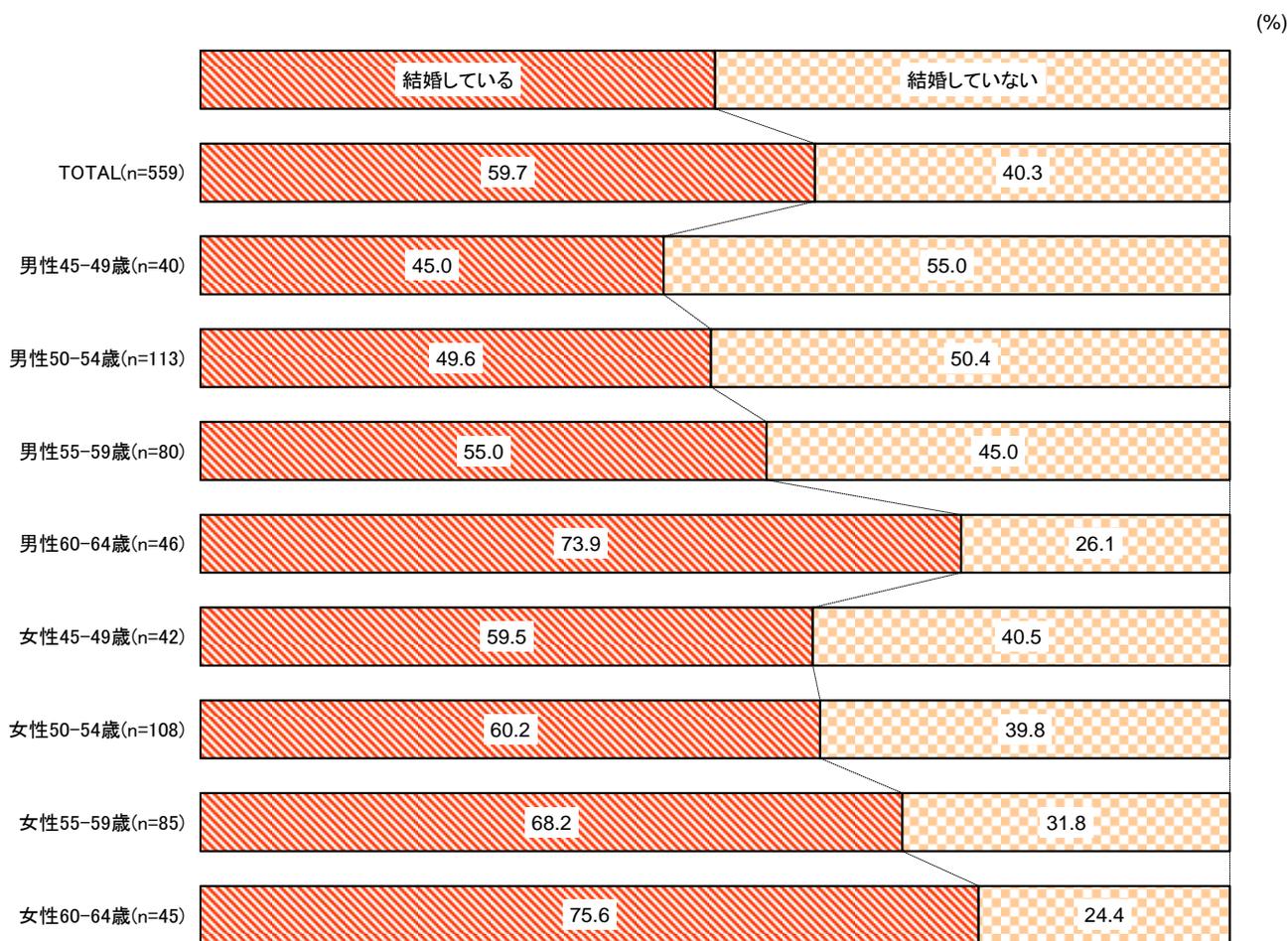


(3) 未既婚

回答者の属性情報より、未既婚については、「結婚している」が59.7%と既婚者が約6割を占める。性年代別でみると、男女とも年代が上がるにつれ、既婚率が高くなっている。また、どの年代も男性より女性の方が既婚率は高くなっている。

国勢調査による板橋区民の既婚率と比較すると、60-64歳を除き、回答者の既婚率は男女ともに低くなっている。

図表 2.1.4 未既婚（性年代別）



図表 2.1.5 板橋区の有配偶者率

(%)

参考	計	男性	女性
45-49歳	67.0	64.9	69.2
50-54歳	68.0	66.4	69.5
55-59歳	69.9	69.7	70.1
60-64歳	68.7	68.9	68.5

出典：総務省統計「平成27年国勢調査結果」より板橋区の有配偶者率

(4) 就労状況（収入を伴う仕事）

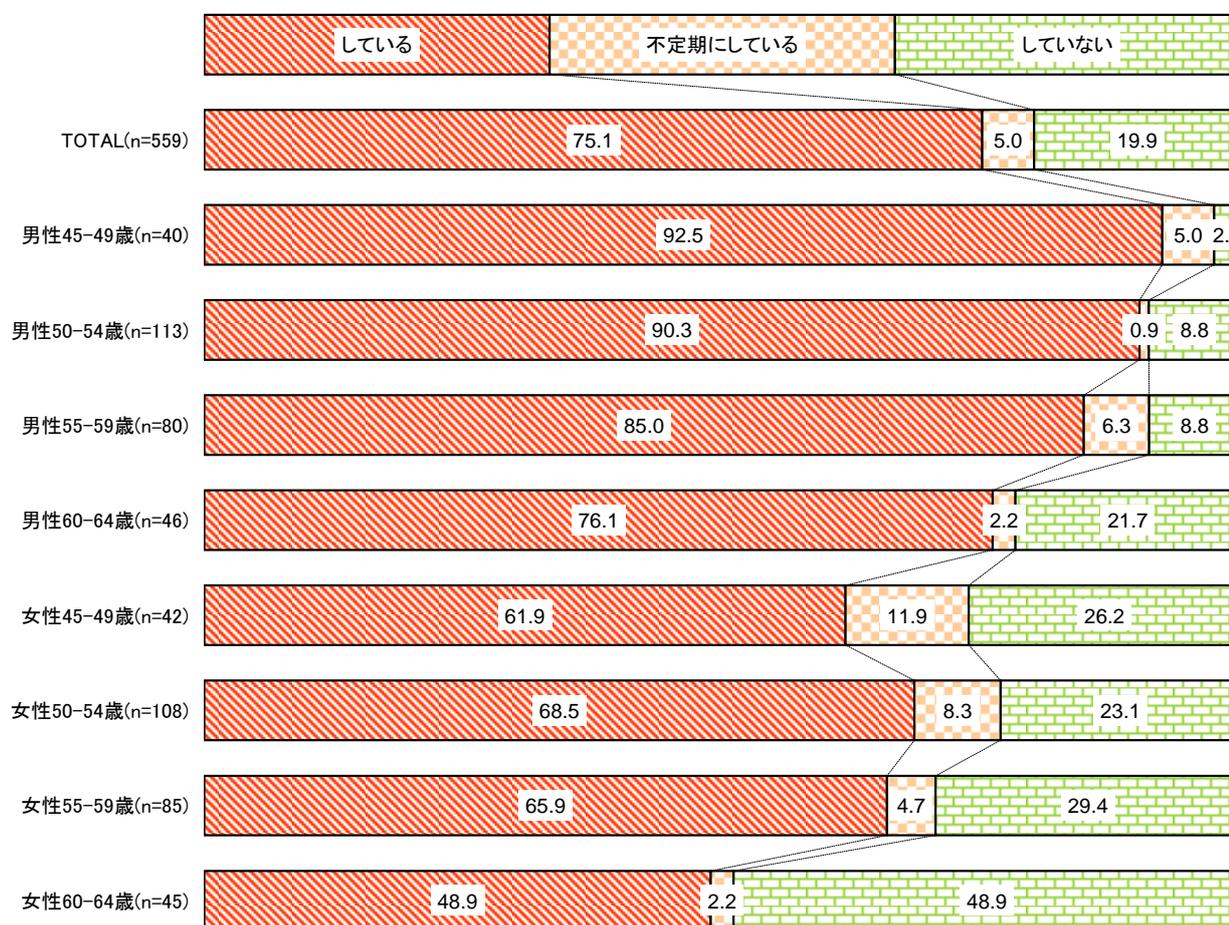
Q 4 あなたは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。（回答は1つ）

収入を伴う仕事については、「している」が75.1%、「不定期にしている」が5.0%、「していない」は19.9%となっている。

性年代別で見ると、男性では年代が上がるにつれ、収入を伴う仕事を「している」割合が低くなっているが、男性60-64歳でも「している」は76.1%となっている。女性では、45-59歳までは「している」と「不定期にしている」を合わせて7割台となっているが、女性60-64歳では「している」が48.9%と「不定期にしている」(2.2%)を合わせ、就労している人が約半数となっている。

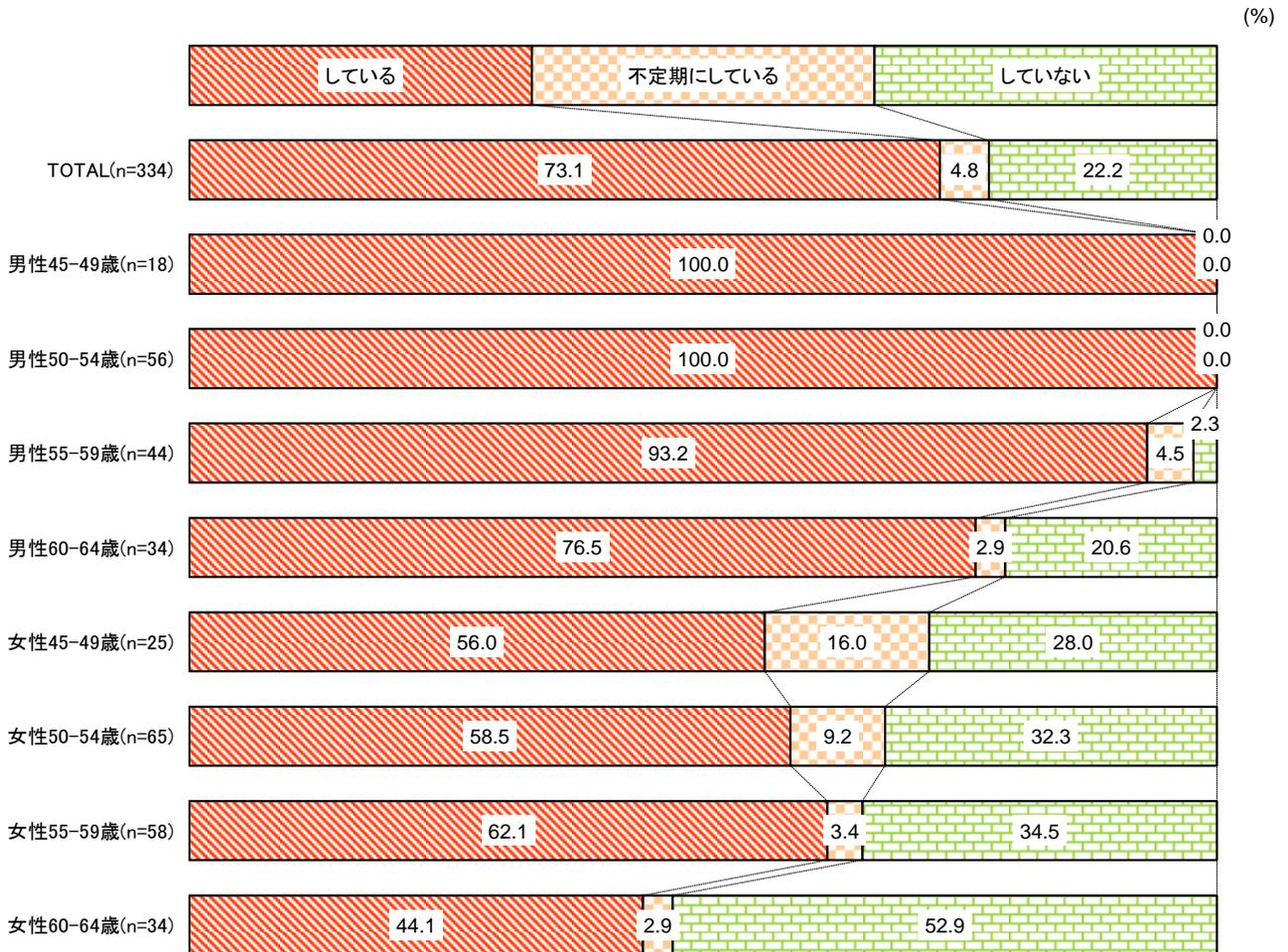
図表 2.1.6 就労状況（収入を伴う仕事）（性年代別）

(%)



未既婚別に、既婚者の就労状況を性年代別で見ると、男性は収入を伴う仕事を「している」が高くなっているが、女性は「している」割合が低くなっている。

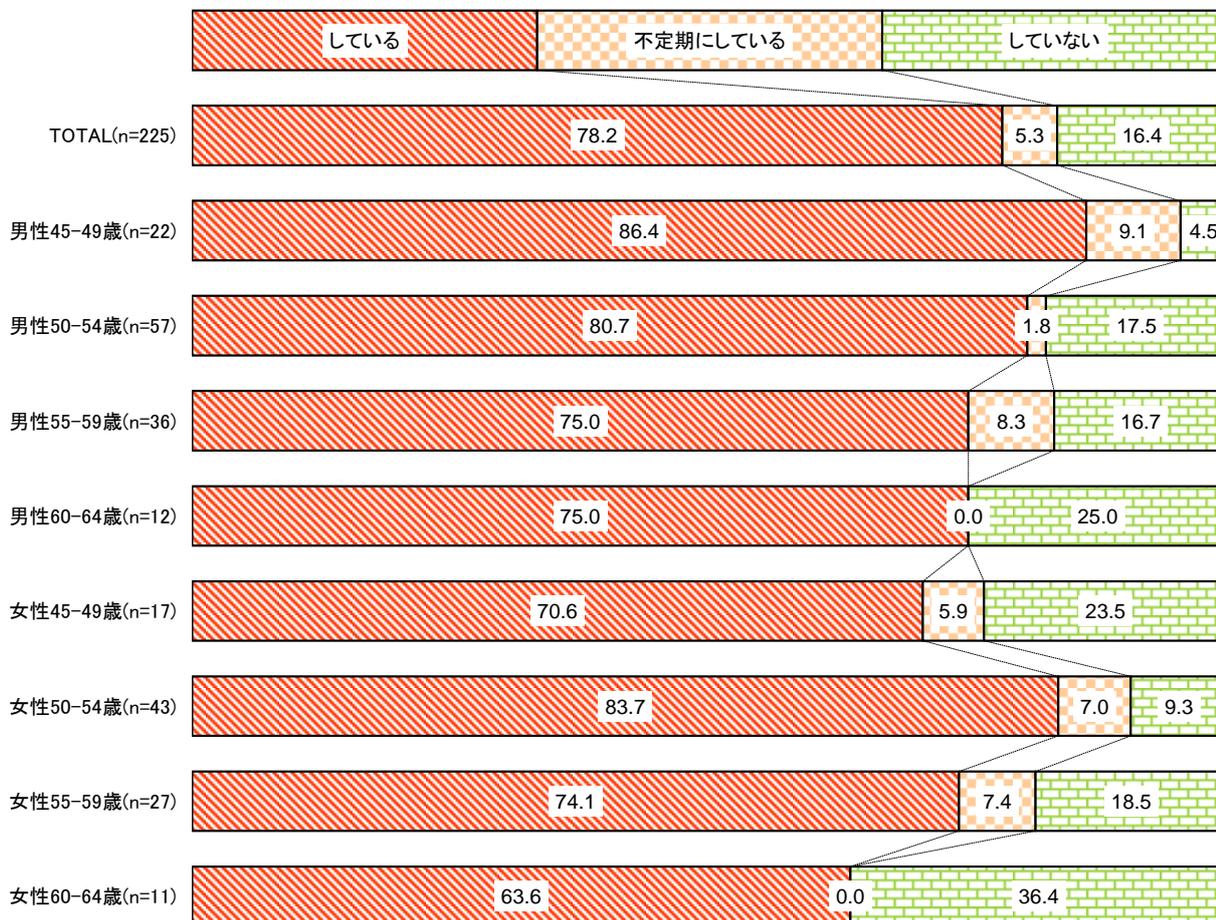
図表 2.1.7 就労状況（収入を伴う仕事）（既婚者の性年代別）



未婚者の就労状況を性年代別で見ると、女性 50-54 歳では、収入を伴う仕事を「している」は、男性 50-54 歳より高くなっている。

図表 2.1.8 就労状況（収入を伴う仕事）（未婚者の性年代別）

(%)



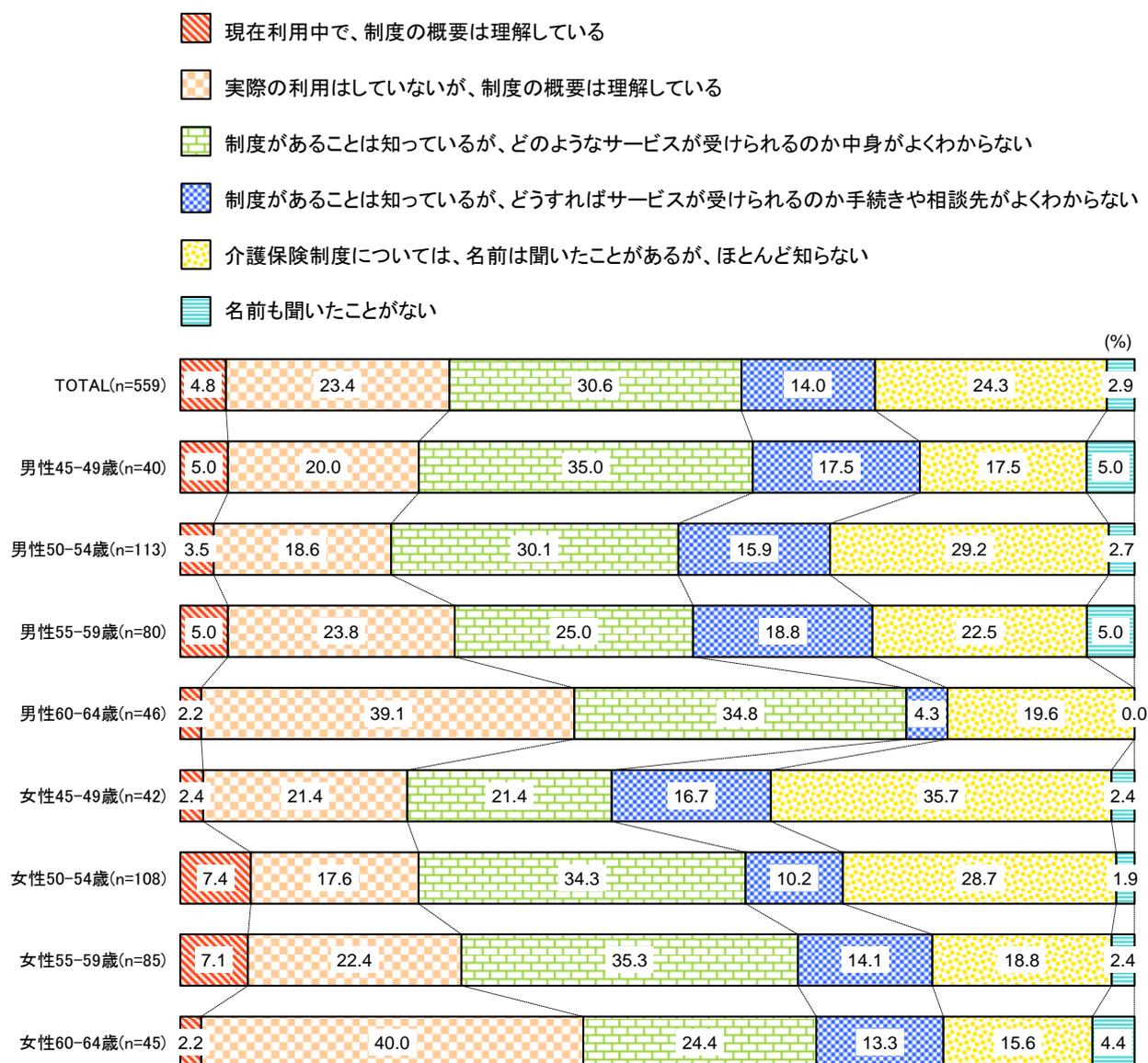
(5) 介護保険制度の認知状況

Q5 あなたは「介護保険制度」について、どの程度ご存知ですか。(回答は1つ)

「介護保険制度」については、「制度があることは知っているが、どのようなサービスが受けられるのか中身がよくわからない」が30.6%と最も高く、次いで「介護保険制度については、名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」(24.3%)、「実際の利用はしていないが、制度の概要は理解している」(23.4%)となっている。

性年代別でみると、男女ともに60-64歳では「実際の利用はしていないが、制度の概要は理解している」が最も高くなっている。

図表 2.1.9 「介護保険制度」についての認知状況（性年代別）



2. 介護経験（現在、見込）

（1）家族等の介護をする見込み

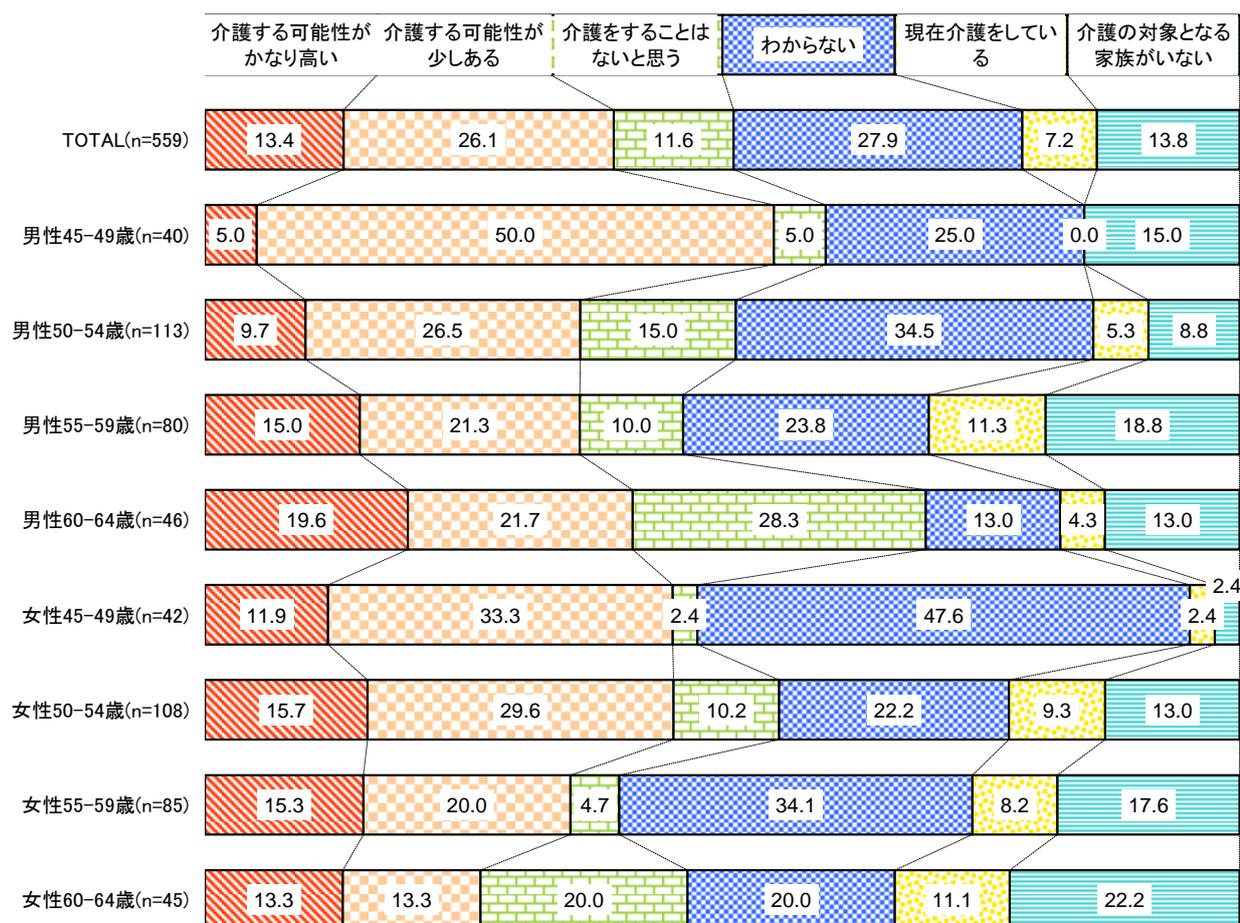
Q6 あなたは、近いうち（今後5年くらいの間）に家族等の介護をすることになるといいますか。
（回答は1つ）

今後5年くらいの間家族等の介護の可能性については、「介護する可能性がかなり高い」が13.4%、「介護する可能性が少しある」が26.1%と「介護の可能性あり」が合わせて39.5%と約4割を占めている。一方、「わからない」は27.9%、「現在介護をしている」は7.2%となっている。

性年代別でみると、男性45-49歳では、「介護する可能性が少しある」が50.0%を占め、最も高くなっている。一方、女性45-49歳では、「わからない」が47.6%と最も高くなっている。男性60-64歳では、「介護をすることはなくと思う」(28.3%)が最も高くなっている。

図表 2.2.1 今後5年くらいの間家族等の介護の可能性（性年代別）

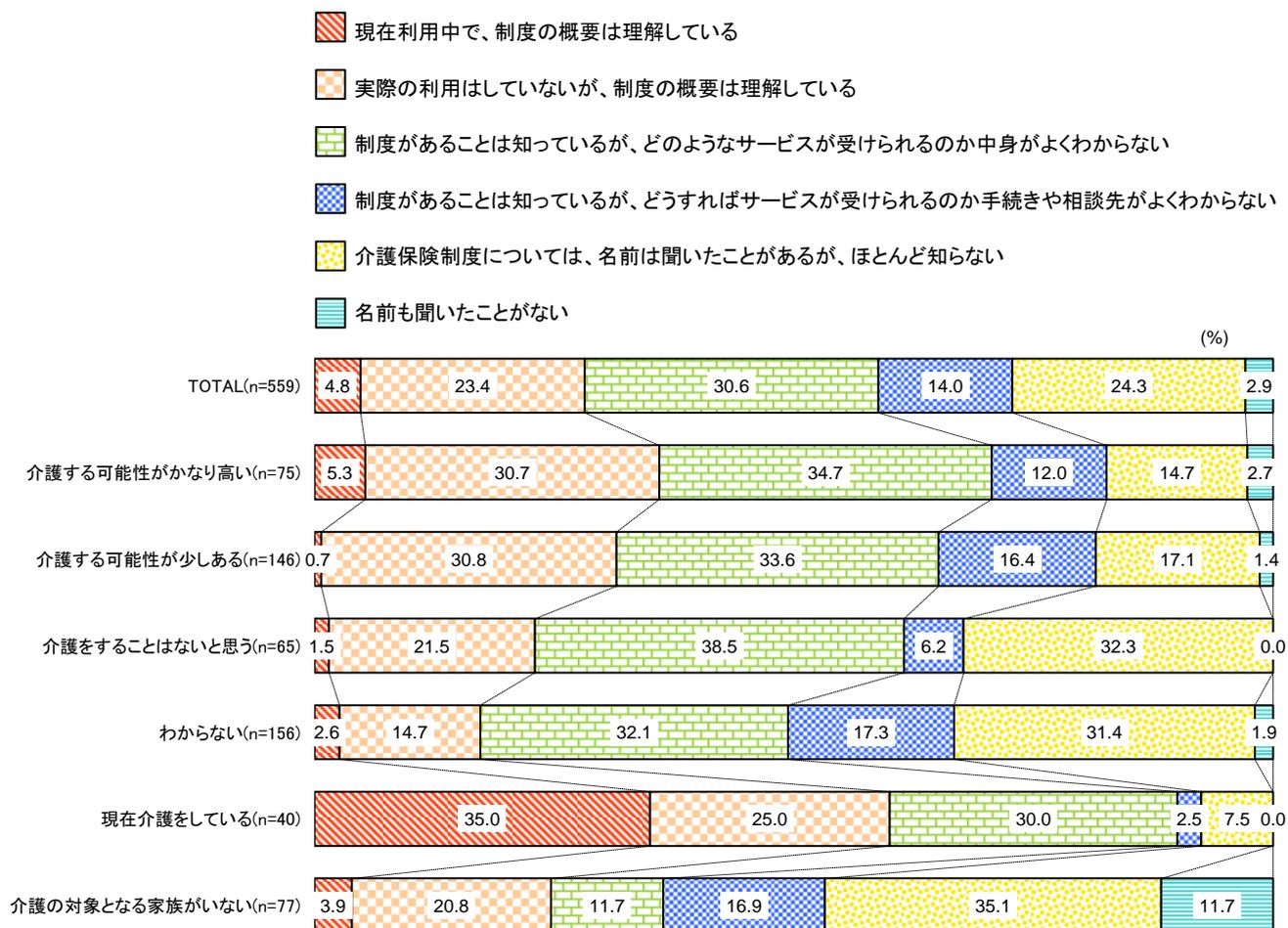
(%)



今後の介護の可能性別に、介護保険制度の認知状況をみると、「現在介護をしている」人では、「現在利用中で、制度の概要は理解している」が35.0%である一方、「制度があることは知っているが、どのようなサービスが受けられるのか中身がよくわからない」も30.0%となっている。

“介護の対象となる家族がない”人では、「介護保険制度については、名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない」が35.1%と最も高くなっている。

図表 2.2.2 「介護保険制度」についての認知状況（今後の介護の可能性別）



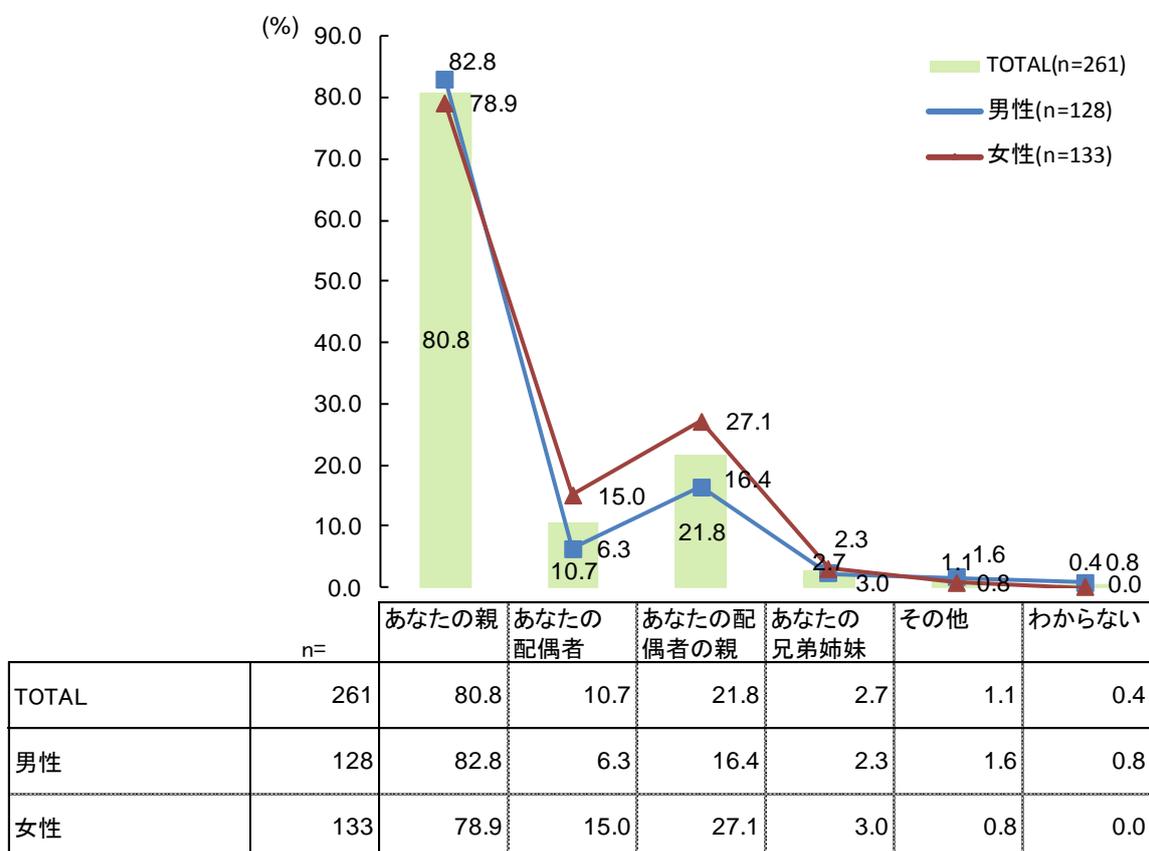
(2) 介護をすることになると思われる相手

Q7 あなたが現在、または将来、介護をすることになると思われる相手はどなたですか。
(回答はいくつでも)

現在介護をしている相手、または、介護をする可能性のある相手をたずねたところ、「あなたの親」が80.8%と最も高く、次いで「あなたの配偶者の親」(21.8%)、「あなたの配偶者」(10.7%)となっている。

性別で見ると、「あなたの配偶者の親」では女性の方が男性より10ポイント以上高く、「あなたの配偶者」についても女性の方が男性より高くなっている。

図表 2.2.3 介護をすることになると思われる相手（性別）



性年代別の結果は以下の通り。

家族等の介護の可能性の程度別でみると、“介護する可能性がかなり高い”人では、「あなたの配偶者の親」が32.0%と“介護する可能性が少しある”人の17.1%と比べて高くなっている。

図表 2.2.4 家族等の介護の可能性（性年代別、今後の介護の可能性別）

		n=	あなたの親	あなたの配偶者	あなたの配偶者の親	あなたの兄弟姉妹	その他	わからない	(%)
TOTAL		261	80.8	10.7	21.8	2.7	1.1	0.4	
男性45-49歳		22	90.9	4.5	18.2	0.0	0.0	0.0	
男性50-54歳		47	89.4	4.3	12.8	0.0	2.1	0.0	
男性55-59歳		38	84.2	7.9	10.5	5.3	2.6	0.0	
男性60-64歳		21	57.1	9.5	33.3	4.8	0.0	4.8	
女性45-49歳		20	85.0	15.0	25.0	0.0	5.0	0.0	
女性50-54歳		59	79.7	13.6	28.8	5.1	0.0	0.0	
女性55-59歳		37	78.4	13.5	27.0	0.0	0.0	0.0	
女性60-64歳		17	70.6	23.5	23.5	5.9	0.0	0.0	
Q6 今後5年くらい の間の家族等の 介護の可能性	介護する可能性がかなり高い	75	82.7	6.7	32.0	4.0	1.3	0.0	
	介護する可能性が少しある	146	79.5	11.6	17.1	2.7	0.7	0.7	
	現在介護をしている	40	82.5	15.0	20.0	0.0	2.5	0.0	

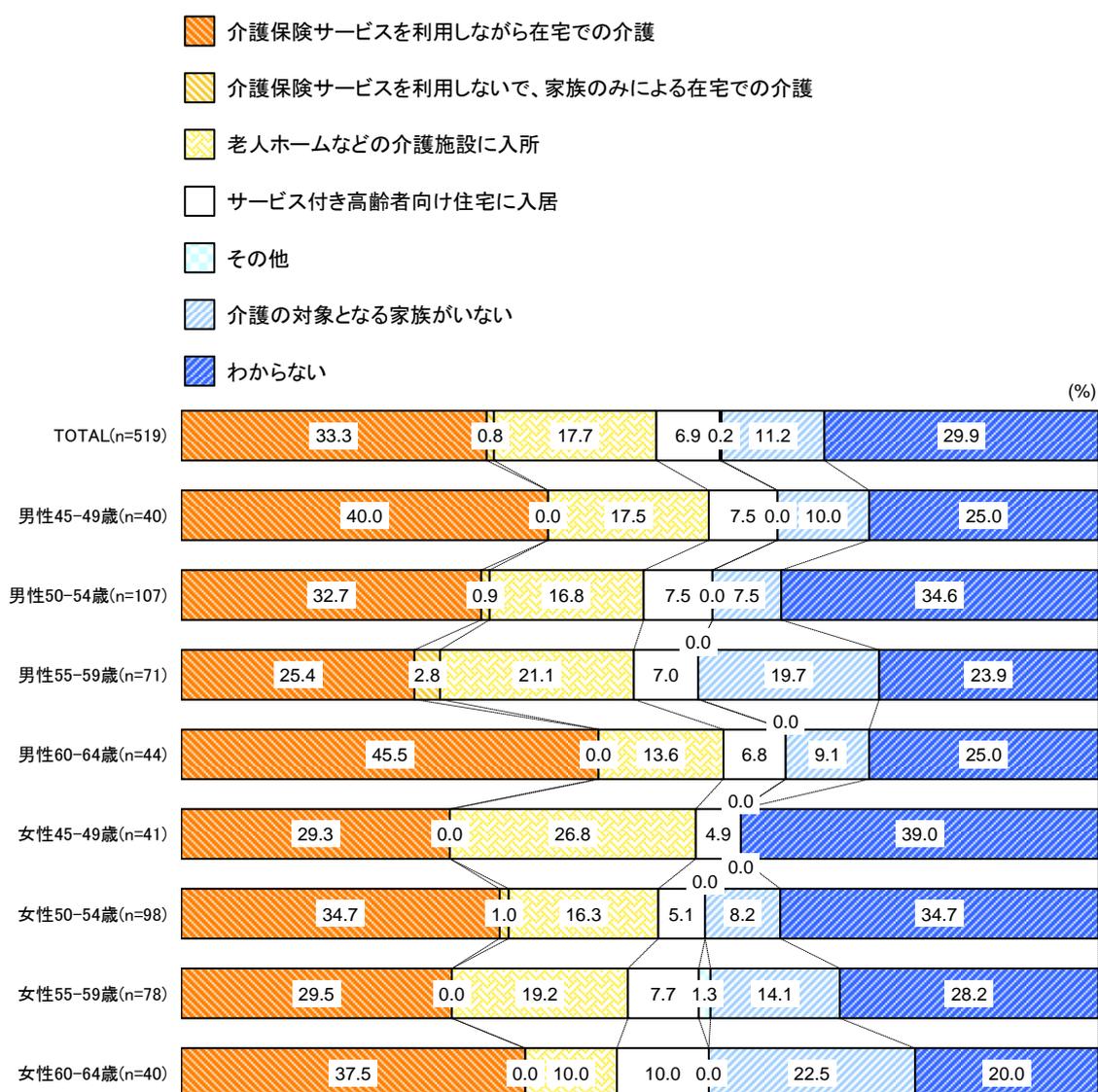
(3) 家族等への介護における考え方

Q8 あなたの家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしたいと思いますか
(介護をしている場合は、どのような介護をしていますか)。(回答は1つ)

現在介護をしている人を除き、家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしたいかについては、「介護保険サービスを利用しながら在宅での介護」が33.3%と最も高くなっている。一方、「わからない」も29.9%となっている。また、「老人ホームなどの介護施設に入所」は17.7%である。

性年代別でみると、男女ともに55-59歳と60-64歳を比べると、55-59歳より、60-64歳のほうが、「介護サービスを利用しながら在宅での介護」が高くなっている。一方、「老人ホームなどの介護施設に入所」が低くなっている。

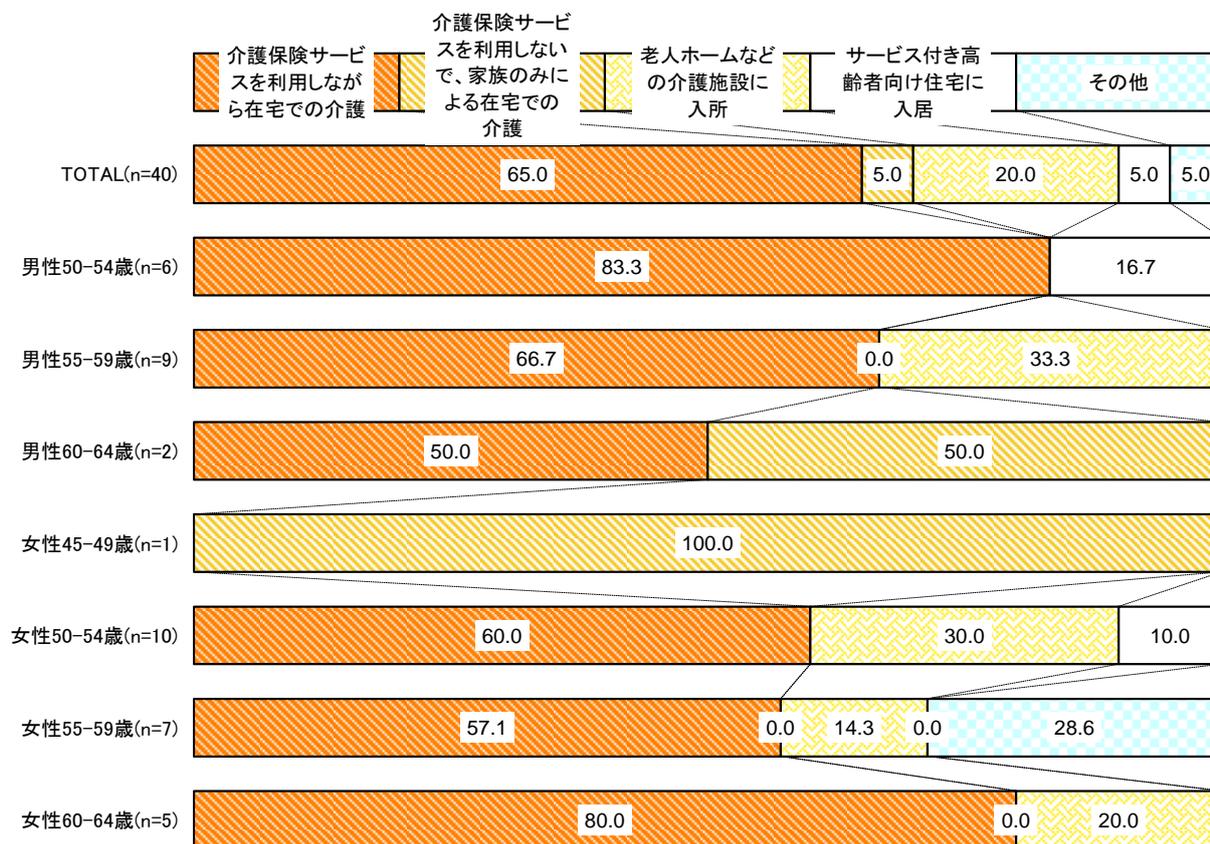
図表 2.2.5 家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしたいか
【ベース：現在介護をしている人を除く】(性年代別)



現在介護をしている人では、「介護保険サービスを利用しながら在宅での介護」が65.0%と最も高く、次いで「老人ホームなどの介護施設に入所」(20.0%)となっている。

図表 2.2.6 家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしているか
【ベース：現在介護をしている人】(性年代別)

(%)



(4) 家族等の介護をすることに不安を感じるか

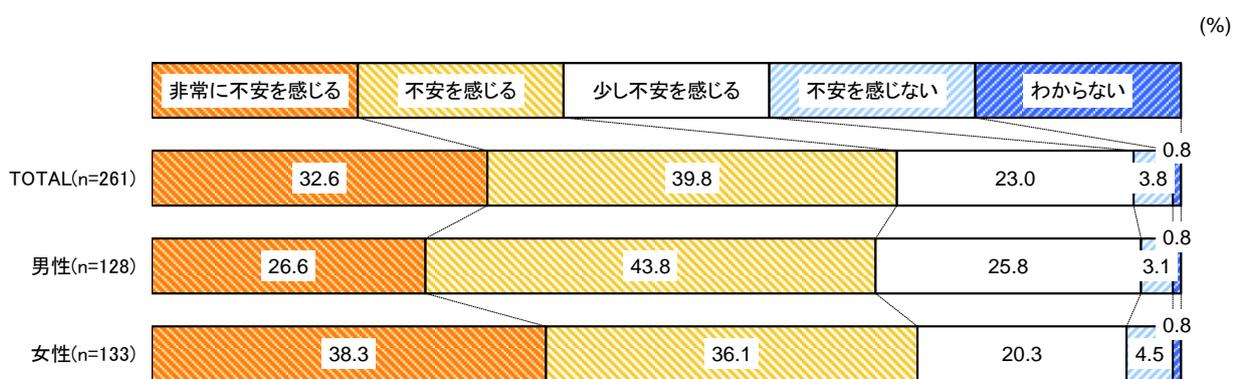
Q9 あなたは家族等の介護をすることについて、不安を感じますか。(回答は1つ)

家族等の介護をすることへの不安については、「非常に不安を感じる」が32.6%、「不安を感じる」が39.8%、「少し不安を感じる」が23.0%となっている。

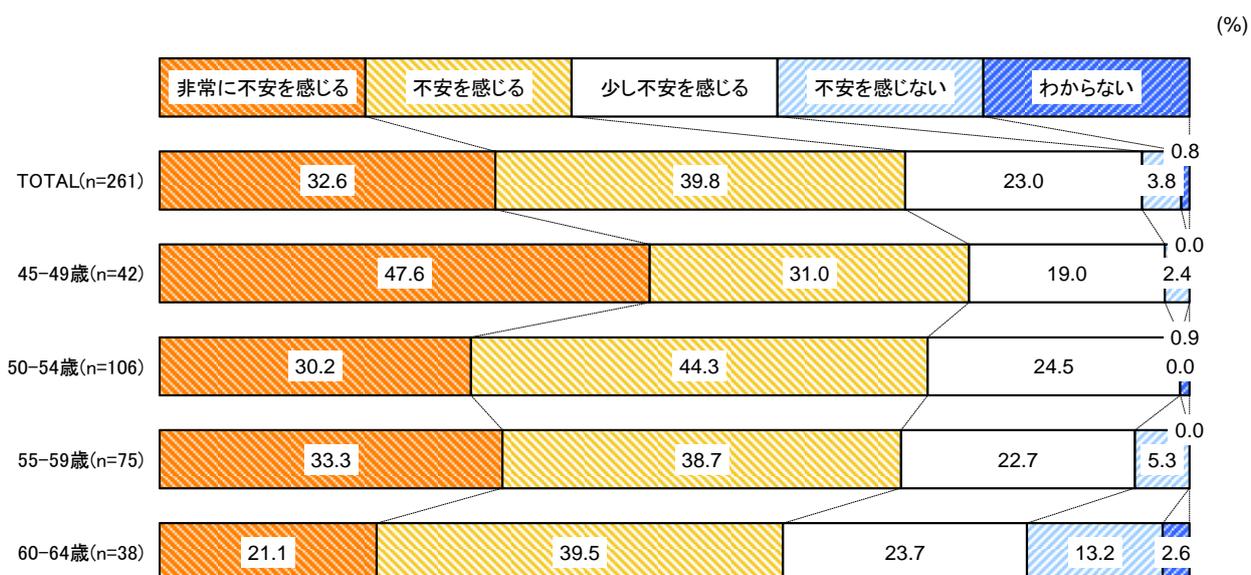
性別でみると、「非常に不安を感じる」は男性より女性の方が10ポイント以上高くなっている。

年代別でみると、「非常に不安を感じる」は、45-49歳では47.6%と他の年代より高くなっている。

図表 2.2.7 家族等の介護をすることについての不安【ベース：介護ありの人（可能性含む）】
(性別)

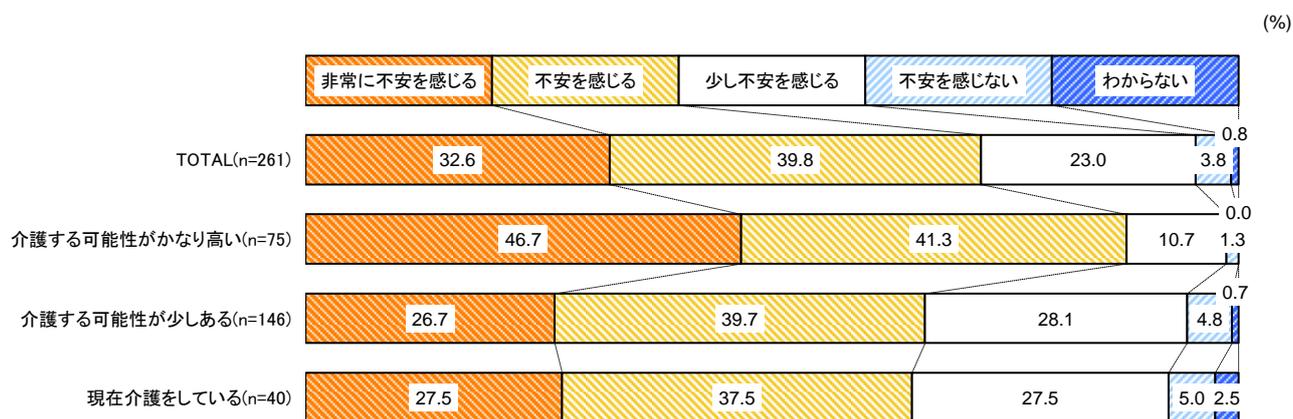


図表 2.2.8 家族等の介護をすることについての不安【ベース：介護ありの人（可能性含む）】
(年代別)



介護の可能性、状況別にみると、「介護する可能性がかなり高い」人では、「非常に不安を感じる」が46.7%と「介護する可能性が少しある」人、「現在介護をしている」人と比べて20ポイント近く高くなっている。

図表 2.2.9 家族等の介護をすることについての不安【ベース：介護ありの人（可能性含む）】
（介護の可能性、状況別）



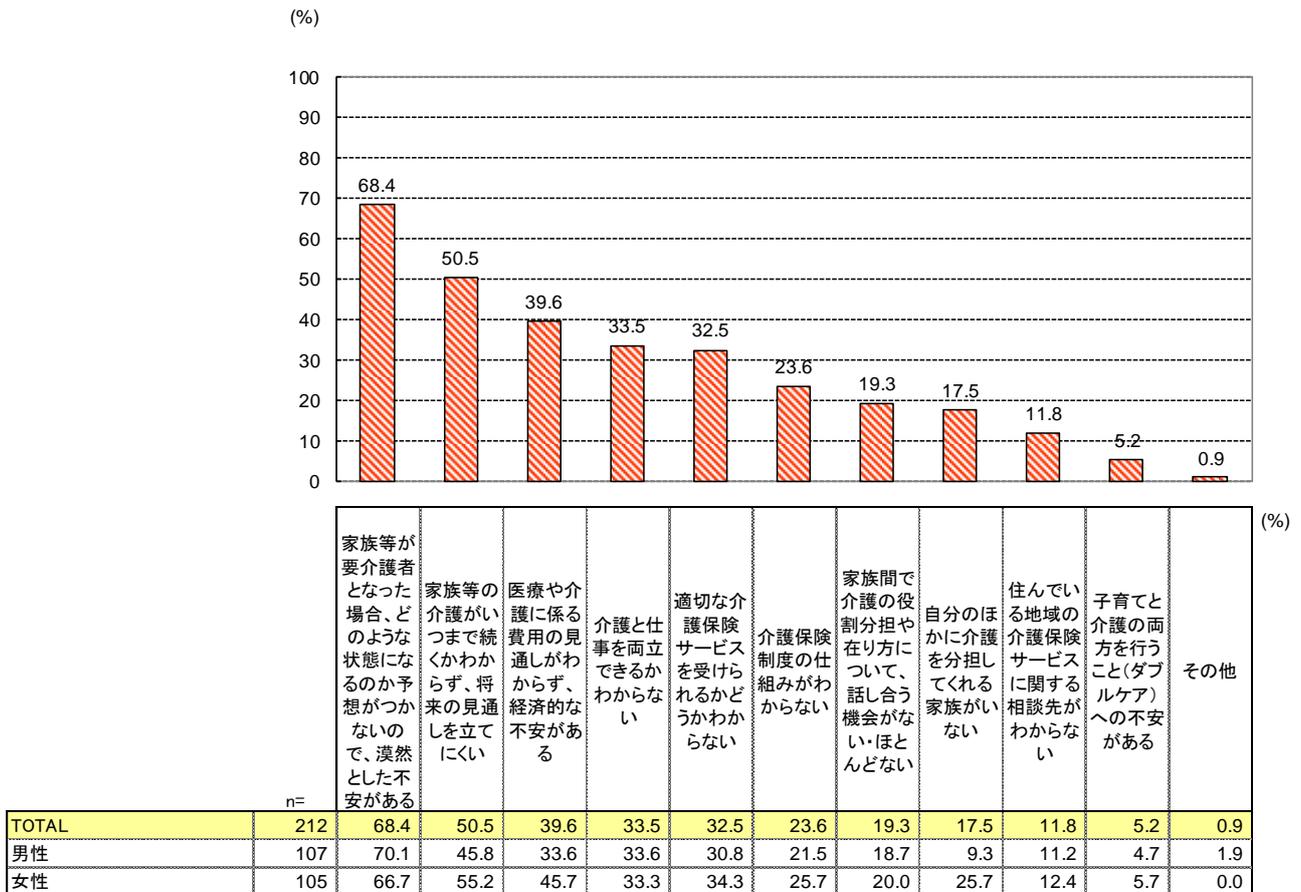
(5) 介護について、どのような点に不安を感じるか

Q10 あなたは、介護について次にお示しするうち、どのようなことに不安を感じますか。
(回答はいくつでも)

今後介護の可能性があり、介護について不安を感じる人に、どのようなことに不安を感じるかたずねたところ、「家族等が要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある」が 68.4%と最も高く、次いで「家族等の介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」(50.5%)、「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」(39.6%)、「介護と仕事を両立できるかわからない」(33.5%)となっている。

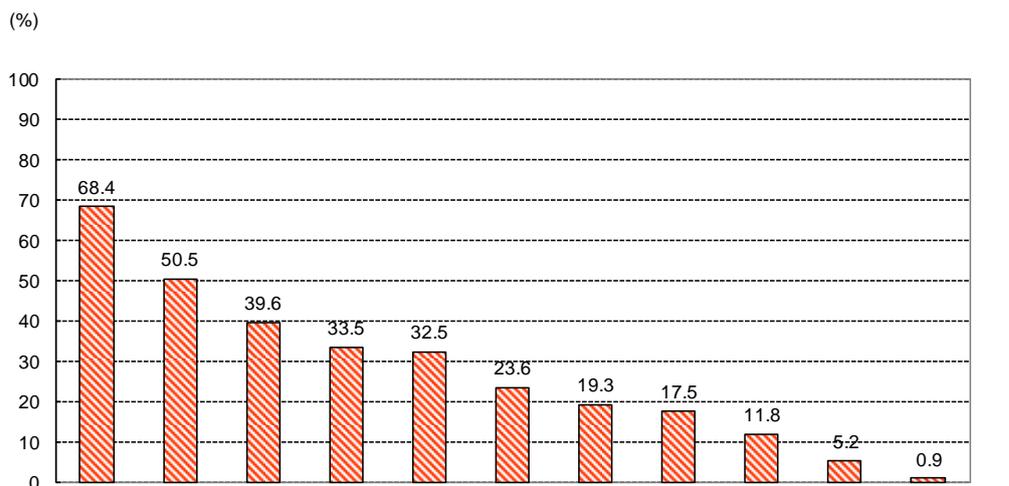
性別でみると、「自分のほかに介護を分担してくれる家族がない」、「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」でともに男性より女性が10ポイント以上高くなっている。

図表 2.2.10 介護について不安を感じる内容（複数回答）
【ベース：介護の可能性があり、不安ありの人】（性別）



年代別でみると、45-49歳では、「住んでいる地域の介護保険サービスに関する相談先がわからない」が22.5%と他の年代より高くなっている。また、50-54歳では、「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」が50.6%と他の年代より高くなっている。

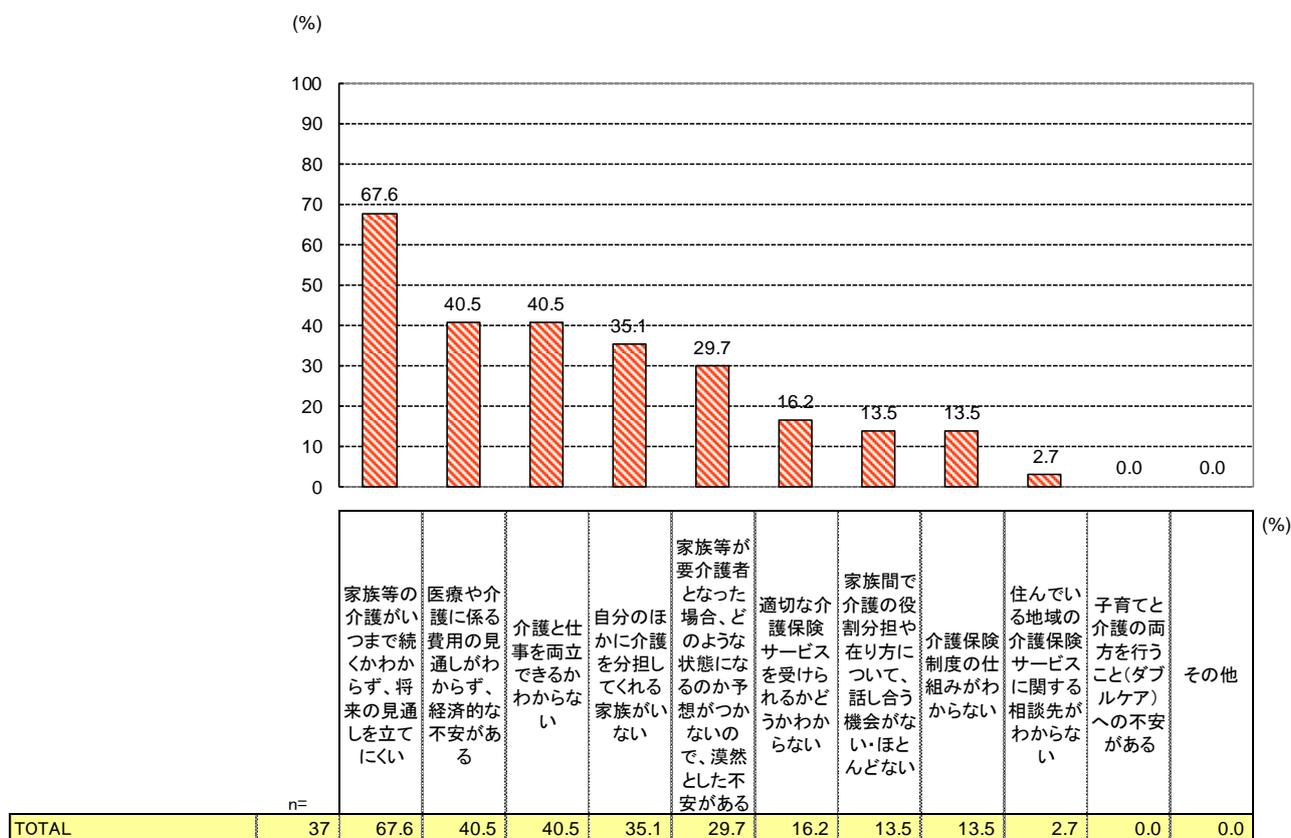
図表 2.2.11 介護について不安を感じる内容（複数回答）
【ベース：介護の可能性があり、不安ありの人】（年代別）



	n=	家族等が要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないの、漠然とした不安がある	家族等の介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい	医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある	介護と仕事を両立できるかわからない	適切な介護保険サービスを受けられるかわからない	介護保険制度の仕組みがわからない	家族間で介護の役割分担や在り方について、話し合う機会がない・ほとんどない	自分のほかに介護を分担してくれる家族がいない	住んでいる地域の介護保険サービスに関する相談先がわからない	子育てと介護の両方を行うこと(ダブルケア)への不安がある	その他
TOTAL	212	68.4	50.5	39.6	33.5	32.5	23.6	19.3	17.5	11.8	5.2	0.9
45-49歳	40	75.0	40.0	37.5	32.5	22.5	22.5	20.0	15.0	22.5	7.5	0.0
50-54歳	89	70.8	50.6	50.6	38.2	31.5	24.7	20.2	28.1	11.2	6.7	0.0
55-59歳	56	64.3	57.1	32.1	33.9	35.7	26.8	21.4	7.1	8.9	1.8	3.6
60-64歳	27	59.3	51.9	22.2	18.5	44.4	14.8	11.1	7.4	3.7	3.7	0.0

現在介護をしている人で、介護について不安を感じる人に、どのようなことに不安を感じるかたずねたところ、「家族等の介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい」が 67.6%と最も高く、次いで「医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある」、「介護と仕事を両立できるかわからない」（ともに 40.5%）、「自分のほかに介護を分担してくれる家族がいない」（35.1%）となっている。

図表 2.2.12 介護について不安を感じる内容（複数回答）
【ベース：介護の不安ありの人】



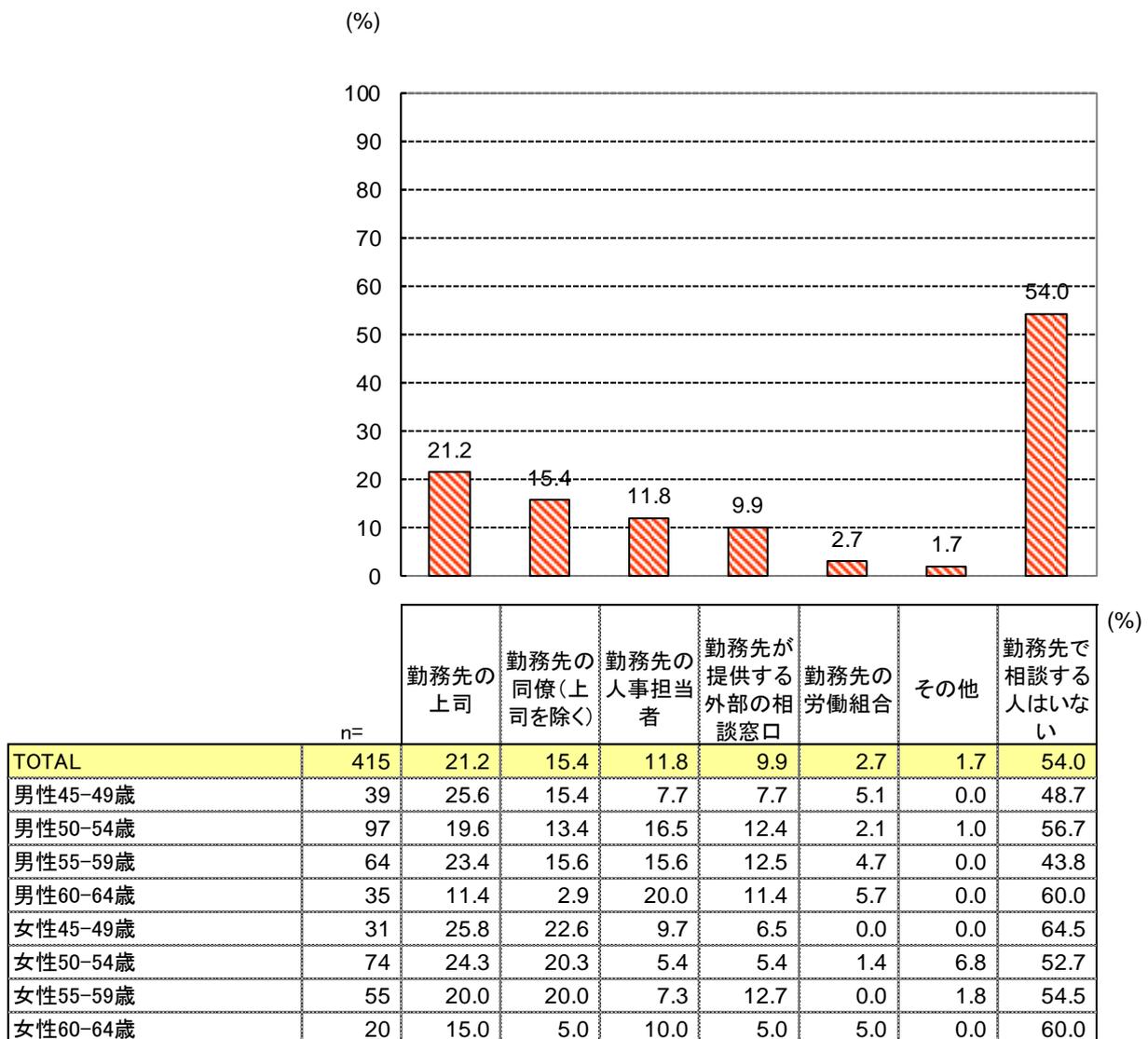
3. 介護と仕事の両立についての考え方

(1) 現在の勤務先で介護の相談をする相手

Q11 あなたは、勤務先で介護について相談するとき、どなたに相談しますか。(現在、介護をしていない方は、介護が必要となった場合を想定してお答えください。なお、相談を受けることは除いてお答えください。)(回答はいくつでも)

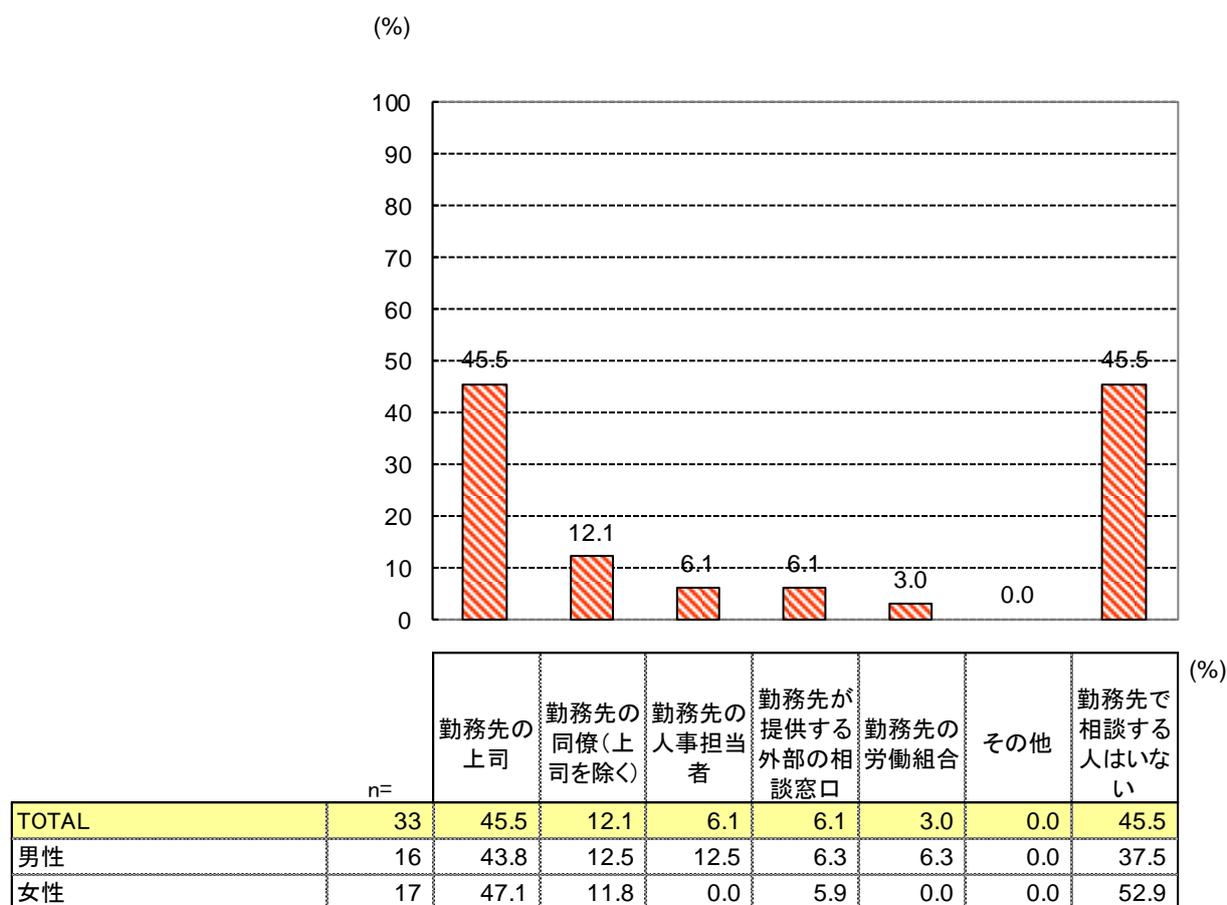
現在就労しながら今後介護をする可能性のある人に、勤務先で介護についての相談するときの相手(想定)をたずねたところ、「勤務先で相談する人はいない」が54.0%と最も高くなっている。相談相手としては、「勤務先の上司」が21.2%、次いで「勤務先の同僚(上司を除く)」(15.4%)となっている。

図表 2.3.1 勤務先で介護について相談するときの相談相手(想定)(複数回答)
【ベース: 就労者】(性年代別)



現在就労しながら介護をしている人について、勤務先で介護についての相談相手は、「勤務先の上司」が45.5%と最も高く、次いで「勤務先の同僚（上司を除く）」（12.1%）となっている。一方で、「勤務先で相談する人はいない」も45.5%と高くなっている。

図表 2.3.2 勤務先で介護について相談するときの相談相手（複数回答）
【ベース：就労者】（性別）



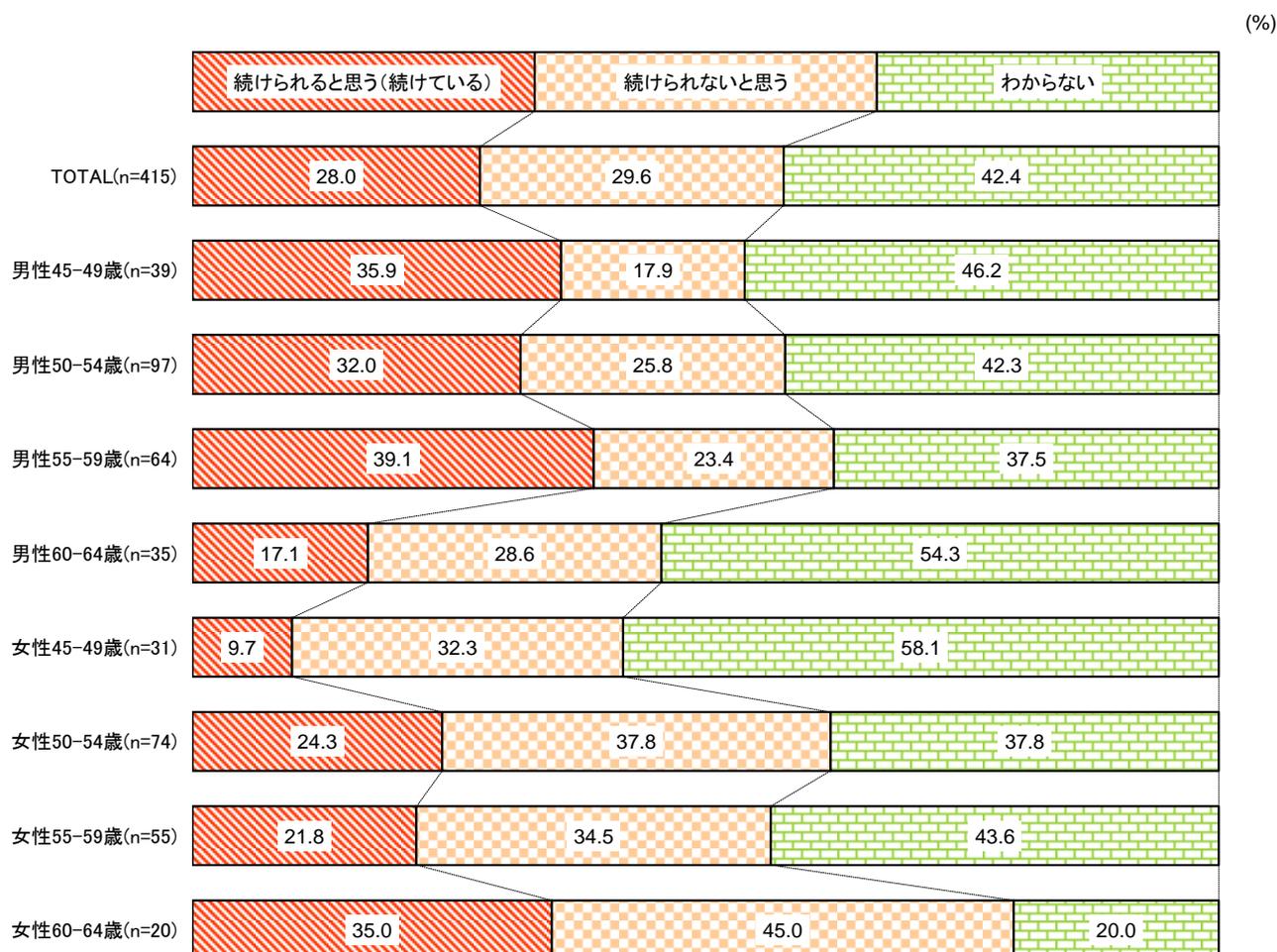
(2) 家族等の介護をすることになった場合、仕事を続けることができると思うか

Q12 あなたは、家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で仕事を続けることができると思いますか。(現在、家族等の介護をしながら仕事を続けている場合も回答して下さい。)(回答は1つ)

現在介護の可能性があり就労している人に、家族等の介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができるかをたずねたところ、「続けられると思う(続けている)」が28.0%、「続けられないと思う」が29.6%、「わからない」が42.4%となっており、「わからない」が最も高くなっている。

性年代別でみると、「続けられると思う(続けている)」が男性55-59歳では39.1%と高くなっている。一方、女性45-49歳では9.7%と低くなっている。

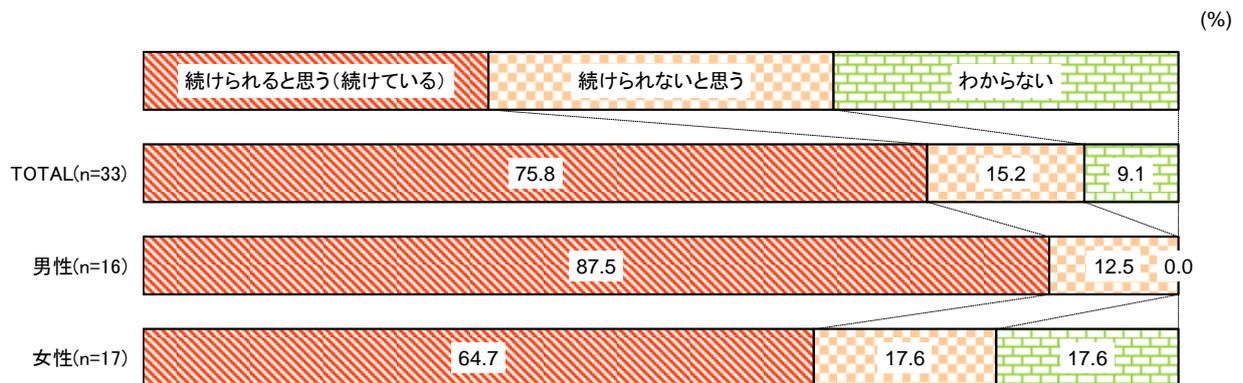
図表 2.3.3 家族等の介護をする場合、現在の勤務先で仕事を続けることができるか
【ベース：介護の可能性のある就労者】(性年代別)



現在介護をしており就労中の人に、家族等の介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができるかをたずねたところ、「続けられると思う(続けている)」が75.8%、「続けられないと思う」が15.2%、「わからない」が9.1%となっている。

性別で見ると、男性では16人中14人、女性では17人中11人が「続けられると思う(続けている)」となっている。

図表 2.3.4 家族等の介護をする場合、現在の勤務先で仕事を続けることができるか
【ベース：現在介護中の就労者】(性別)



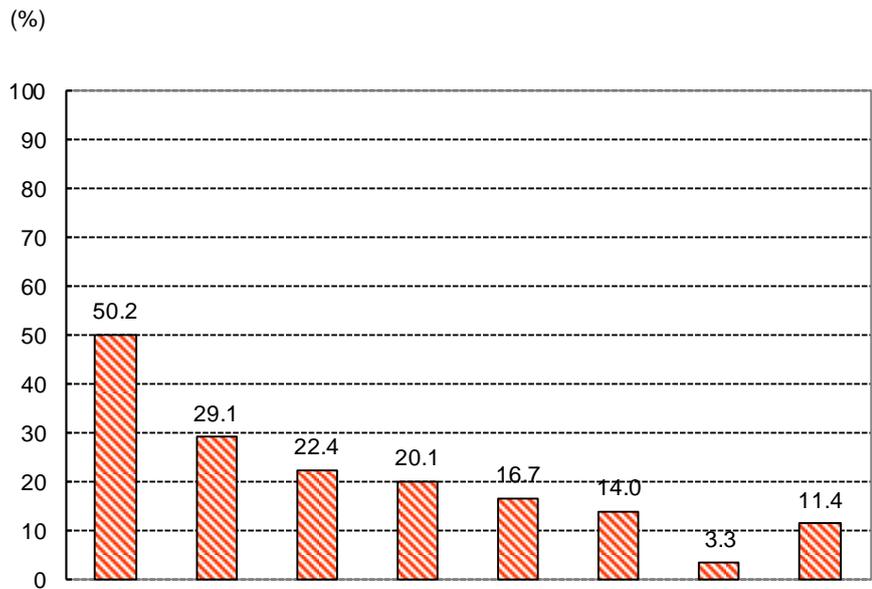
(3) 介護離職を避けるための条件

Q13 あなたは、家族等の介護をすることになった場合、どのような条件があったら仕事を辞めずに続けられると思いますか。(回答はいくつでも)

前問の回答者(就労中で、介護をする可能性がある人)のうち、仕事を続けられないと思う人に、仕事を辞めずに続けられると思う条件をたずねたところ、「要介護者が施設等に入所し、自分で介護をする必要がなければ続けられると思う」が50.2%と最も高く、次いで「介護保険サービスが十分に受けられれば、仕事を続けられると思う」(29.1%)、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う」(22.4%)となっている。

性別でみると、「要介護者が施設等に入所し、自分で介護をする必要がなければ続けられると思う」が男性より女性で高くなっている。

図表 2.3.5 家族等の介護をする場合、仕事を辞めずに続けられる条件(複数回答)
【ベース: 就労中で、介護をする可能性があり、仕事を続けられないと思う人】(性別)



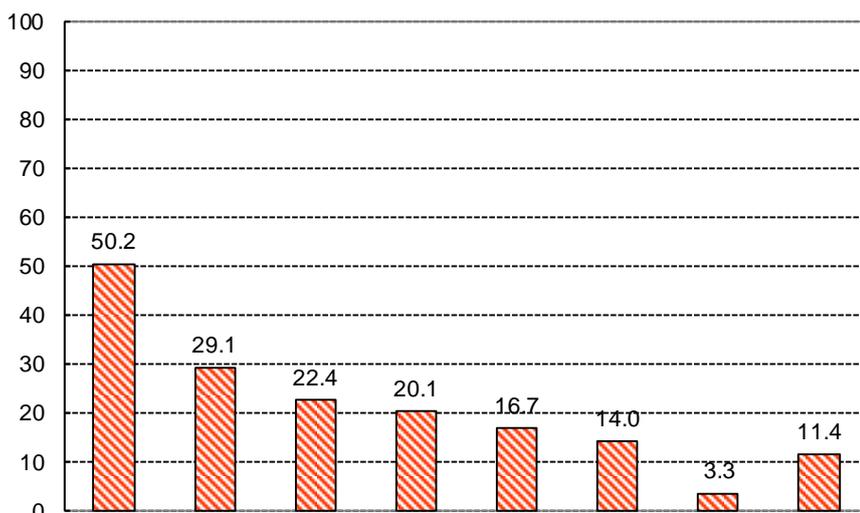
	n=	要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う	介護保険サービスが十分に受けられれば、仕事を続けられると思う	在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う	介護から離れて、気分転換したり、からだを休ませるなど、自分自身の心とからだをケアできれば続けられると思う	介護保険サービス以外の支援(家族、民間サービス、となり近所等)があれば続けられると思う	短時間勤務や職場異動などで仕事の負担が軽くなれば、続けられると思う	その他	仕事よりも介護を優先したいので、条件に関わらず仕事をやめて介護に専念する
TOTAL	299	50.2	29.1	22.4	20.1	16.7	14.0	3.3	11.4
男性	159	43.4	28.3	21.4	17.6	15.7	14.5	1.9	11.9
女性	140	57.9	30.0	23.6	22.9	17.9	13.6	5.0	10.7

年代別でみると、45-49歳では、「在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う」が他の年代より高くなっている。また、55-59歳では、「短時間勤務や職場異動などで仕事の負荷が軽くなれば、続けられると思う」が他の年代より低くなっている。

図表 2.3.6 家族等の介護をする場合、仕事を辞めずに続けられる条件（複数回答）

【ベース：就労中で、介護の可能性があり、仕事を続けられないと思う人】（年代別）

(%)

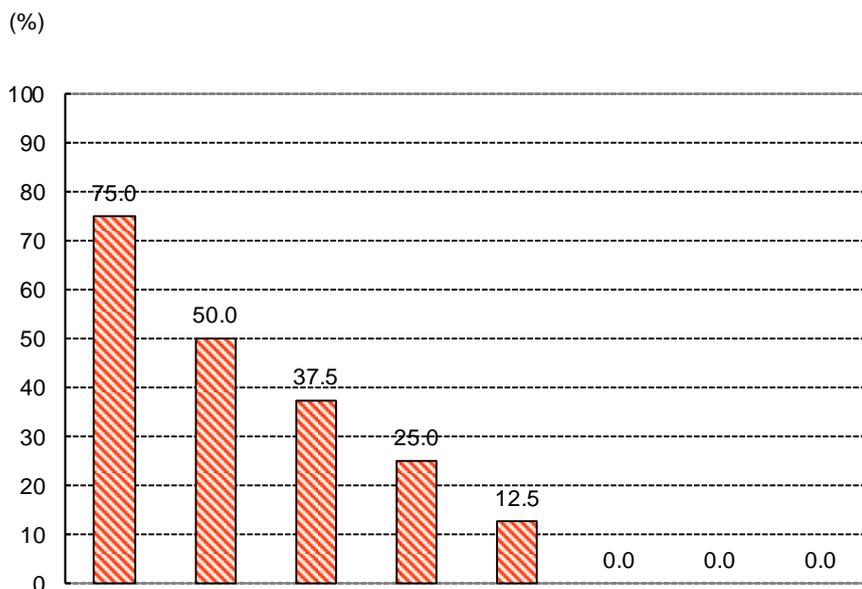


(%)

	n=	要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う	介護保険サービスが十分に受けられれば、仕事を続けられると思う	在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う	介護から離れて、気分転換したり、からだを休ませるなど、自分自身の心とからだをケアできれば続けられると思う	介護保険サービス以外の支援(家族、民間サービス、となり近所等)があれば続けられると思う	短時間勤務や職場異動などで仕事の負荷が軽くなれば、続けられると思う	その他	仕事よりも介護を優先したいので、条件に関わらず仕事をやめて介護に専念する
TOTAL	299	50.2	29.1	22.4	20.1	16.7	14.0	3.3	11.4
45-49歳	53	52.8	37.7	32.1	24.5	24.5	18.9	1.9	7.5
50-54歳	122	44.3	26.2	26.2	18.9	18.0	18.0	5.7	12.3
55-59歳	82	56.1	23.2	13.4	24.4	12.2	4.9	2.4	11.0
60-64歳	42	52.4	38.1	16.7	9.5	11.9	14.3	0.0	14.3

前問の回答者（就労中で、介護をしている人）のうち、仕事を続けられないと思う人では、「要介護者が施設等に入所し、自分で介護をする必要がなければ続けられると思う」が8人中6人と最も高く、次いで「介護保険サービス以外の支援（家族、民間サービス、となり近所等）があれば続けられると思う」（8人中4人）となっている。

図表 2.3.7 家族等の介護をする場合、仕事を辞めずに続けられる条件（複数回答）
【ベース：就労中で、介護をしており、仕事を続けられないと思う人】（性別）



	n=	要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う	介護保険サービス以外の支援（家族、民間サービス、となり近所等）があれば続けられると思う	介護保険サービスが十分に受けられれば、仕事を続けられると思う	介護から離れて、気分転換したり、からだを休ませるなど、自分自身の心とからだをケアできれば続けられると思う	在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う	短時間勤務や職場異動などで仕事の負担が軽くなれば、続けられると思う	その他	仕事よりも介護を優先したいので、条件に関わらず仕事をやめて介護に専念する
TOTAL	8	75.0	50.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0
男性	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	6	83.3	50.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0

(4) 介護や家事を支援してほしいと考える人

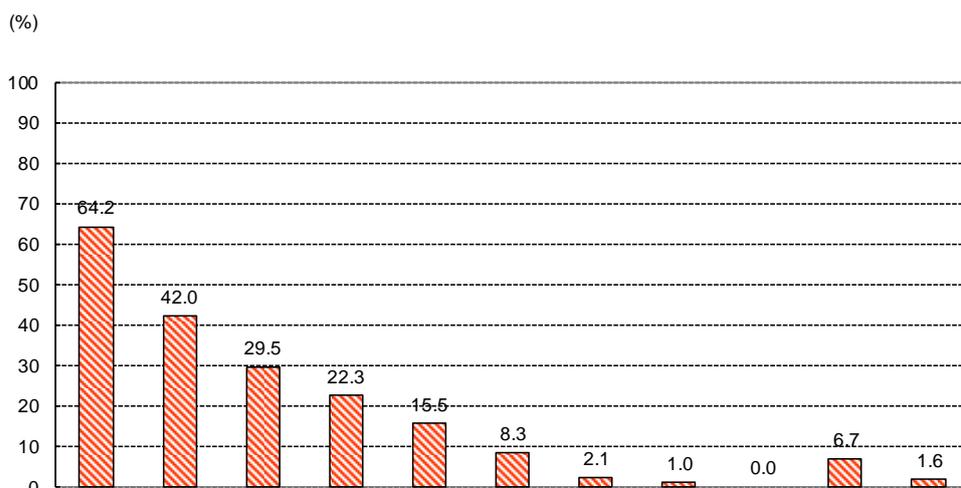
現在お仕事をされていて、今後、介護を担う可能性があるとお答えの方におたずねします。

Q14 あなたが介護を担うことになった際、あなたはどのような人に介護や家事を支援してもらおうと思いますか。(回答はいくつでも)

現在就労中で、今後介護をする可能性がある人に、介護を担う際に、どのような人から介護や家事の支援をしてもらうかをたずねたところ、「公的な介護保険サービス（ケアマネジャー、ホームヘルパー等）」が64.2%と最も高く、次いで「同居の家族」（42.0%）、「別居の家族」（29.5%）、「自治体の介護担当窓口や民生委員など」（22.3%）となっている。

性別でみると、「同居の家族」は男性では48.1%に対し、女性は34.5%と10ポイント以上低くなっている。一方、「自治体の介護担当窓口や民生委員など」は男性では16.0%に対し、女性では29.9%と10ポイント以上高くなっている。

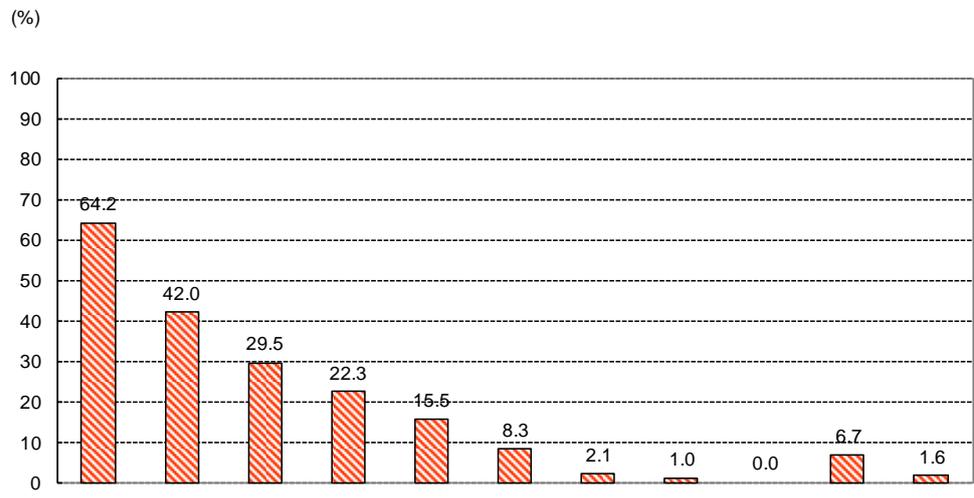
図表 2.3.8 介護をすることになった際、介護や家事を支援してもらいたい人（複数回答）
【ベース：就労者で、介護を担う可能性がある人】（性別）



	n=	公的な介護保険サービス（ケアマネジャー、ホームヘルパー等）	同居の家族	別居の家族	自治体の介護担当窓口や民生委員など	社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体などの市民活動団体	家政婦等の民間サービス	となり近所	知人・友人	その他	わからない	誰の支援も求めない
TOTAL	193	64.2	42.0	29.5	22.3	15.5	8.3	2.1	1.0	0.0	6.7	1.6
男性	106	59.4	48.1	27.4	16.0	14.2	5.7	2.8	0.0	0.0	4.7	1.9
女性	87	70.1	34.5	32.2	29.9	17.2	11.5	1.1	2.3	0.0	9.2	1.1

年代別でみると、45-49歳では、「同居の家族」が最も高くなっている。

図表 2.3.9 介護をすることになった際、介護や家事を支援してもらいたい人（複数回答）
【ベース：就労者で、介護を担う可能性がある人】（年代別）



	n=	公的な介護保険サービス (ケアマネジャー、ホームヘルパー等)	同居の家族	別居の家族	自治体の介護担当窓口や民生委員など	社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体などの市民活動団体	家政婦等の民間サービス	となり近所	知人・友人	その他	わからない	誰の支援も求めない
TOTAL	193	64.2	42.0	29.5	22.3	15.5	8.3	2.1	1.0	0.0	6.7	1.6
45-49歳	37	51.4	54.1	27.0	18.9	10.8	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
50-54歳	80	71.3	38.8	28.8	26.3	17.5	7.5	2.5	1.3	0.0	6.3	2.5
55-59歳	53	66.0	43.4	34.0	18.9	13.2	13.2	1.9	1.9	0.0	7.5	0.0
60-64歳	23	56.5	30.4	26.1	21.7	21.7	8.7	4.3	0.0	0.0	13.0	4.3

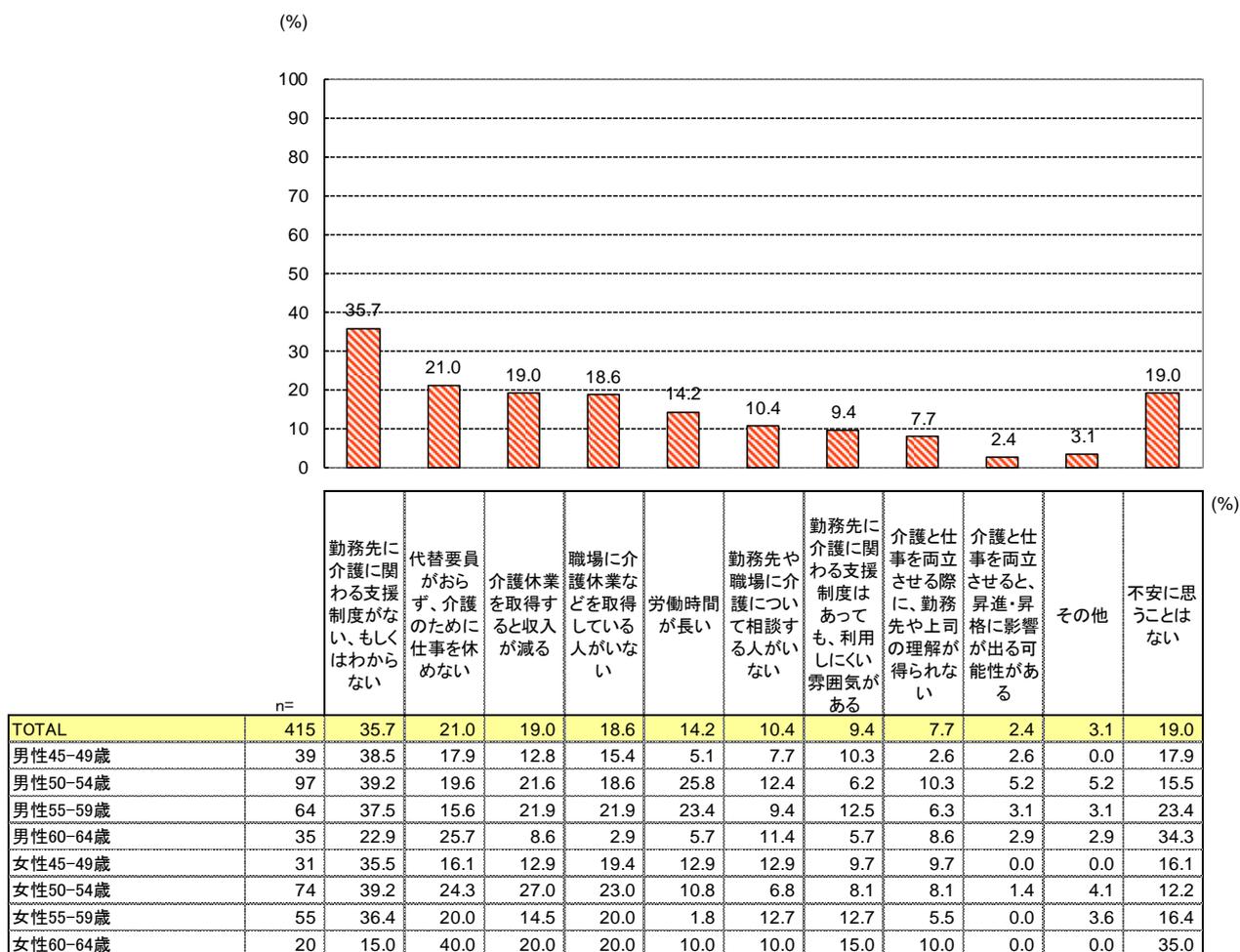
(5) 介護をしながら仕事を続ける上で不安に思うこと

Q15 家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で仕事を続ける上で、不安に思うことは何ですか。(現在、家族等の介護をしている場合は、仕事を続けている上で、不安に思っていることは何ですか。(回答はいくつでも)

現在就労中で、今後介護の可能性のある人に、仕事を続けるうえで不安に思うことをたずねたところ、「勤務先に介護に関わる支援制度がない、もしくはわからない」が35.7%と最も高く、次いで「代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない」(21.0%)、「介護休業を取得すると収入が減る」(19.0%)となっている。一方、「不安に思うことはない」は19.0%となっている。

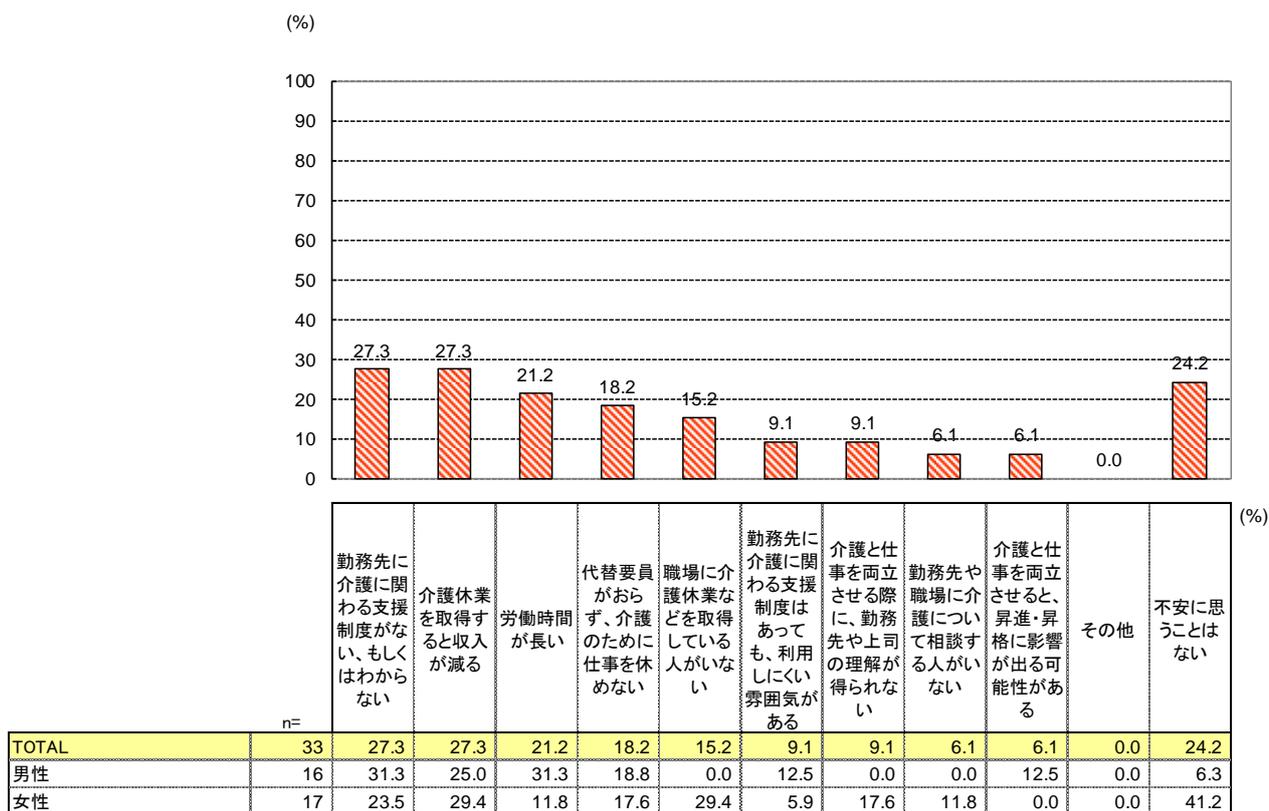
性年代別でみると、男性50-54歳、男性55-59歳では、ともに「労働時間が長い」が他の性年代より高くなっている。また、女性50-54歳では、「介護休業を取得すると収入が減る」が他の性年代より高くなっている。

図表 2.3.10 家族等の介護をする場合、現在の勤務先で仕事を続ける上で、不安に思うこと(思っていること)(複数回答)【ベース：介護の可能性のある就労者】(性年代別)



現在就労中で、介護をしている人では、「勤務先に関わる支援制度がない、もしくはわからない」、「介護休業を取得すると収入が減る」がともに27.3%と最も高く、次いで「労働時間が長い」(21.2%)、「代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない」(18.2%)となっている。また、「不安に思うことはない」は24.2%となっている。

図表 2.3.11 家族等の介護をする場合、現在の勤務先で仕事を続ける上で、不安に思うこと(思っていること)(複数回答)【ベース：現在介護中の就労者】(性別)



4. 各種制度等の認知

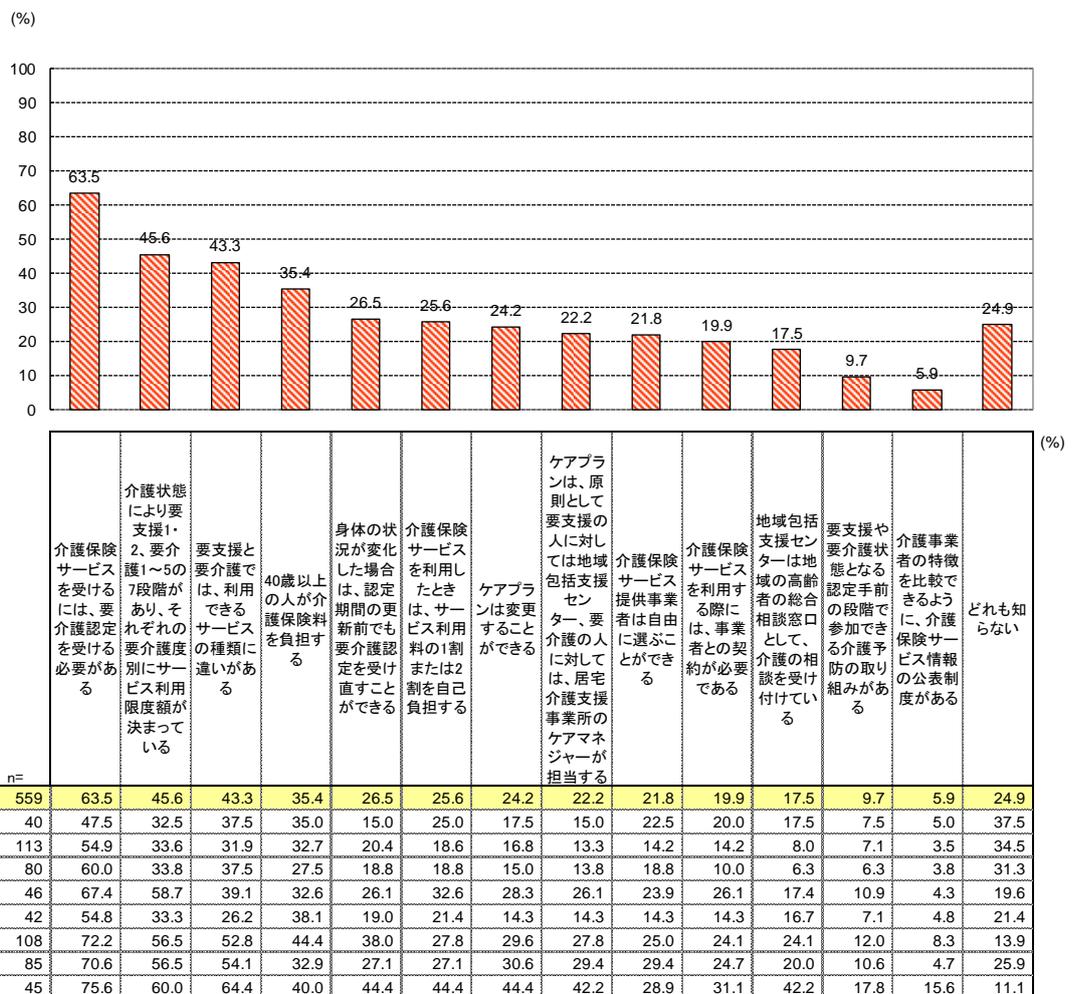
(1) 介護保険について知っていること

Q16 「介護保険」についてどのようなことを知っていますか。(回答はいくつでも)

「介護保険サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある」が63.5%と最も高く、次いで「介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階があり、それぞれの要介護度別にサービス利用限度額が決まっている」(45.6%)、「要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある」(43.3%)となっている。

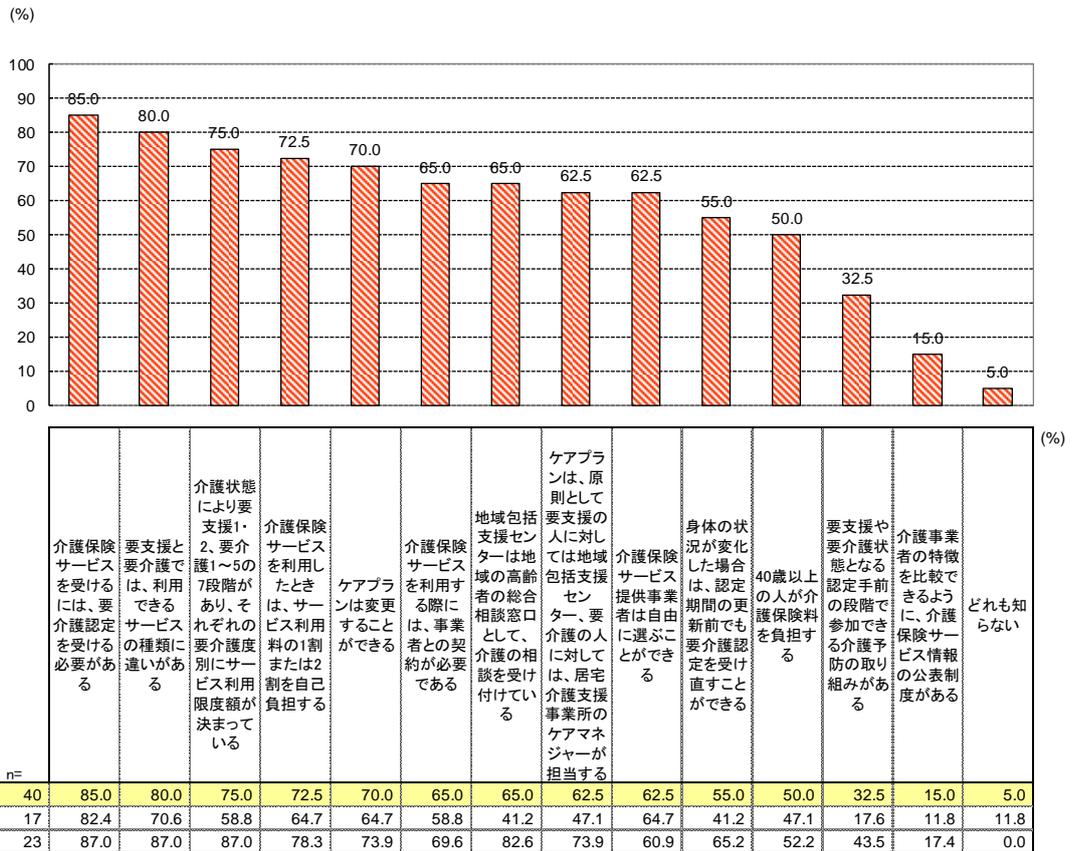
性年代別でみると、女性60-64歳では多くの項目で他の性年代より最も高くなっている。

図表 2.4.1 「介護保険」についての認知内容（複数回答）（性年代別）



現在介護をしている人で、「介護保険」についての認知内容は、「要支援や要介護状態となる認定手前の段階で参加できる介護予防の取り組みがある」、「介護事業者の特徴を比較できるように、介護保険サービス情報の公表制度がある」を除き、いずれも半数以上となっている。

図表 2.4.2 「介護保険」についての認知内容（複数回答）
【ベース：現在介護をしている人】（性別）



(2) 地域包括支援センターについて知っていること

Q17 あなたは、地域包括支援センターについてどのようなことをご存知ですか。(回答は1つ)

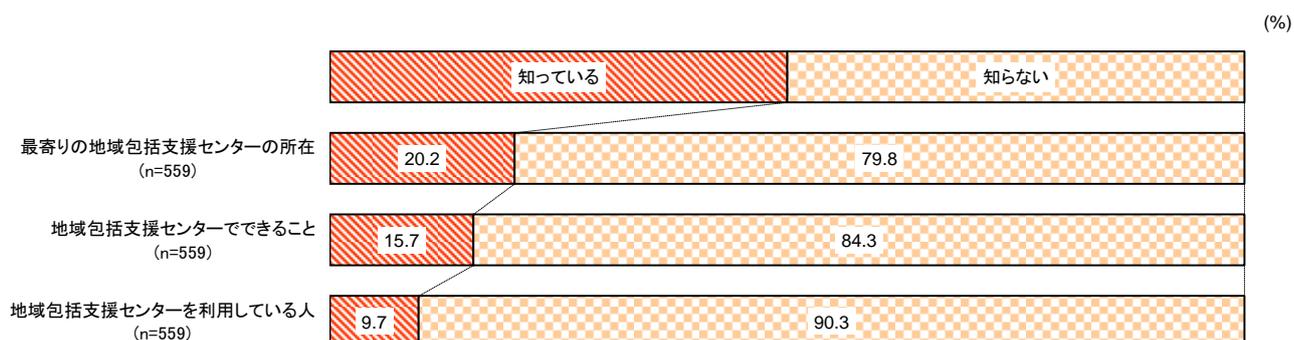
- 1 最寄りの地域包括支援センターの所在
- 2 地域包括支援センターでできること
- 3 地域包括支援センターを利用している人

最寄りの地域包括支援センターの所在については、「知っている」が20.2%、「知らない」が79.8%となっている。

地域包括支援センターでできることでは、「知っている」が15.7%、「知らない」が84.3%となっている。

地域包括支援センターを利用している人については、「知っている」が9.7%、「知らない」が90.3%となっている。

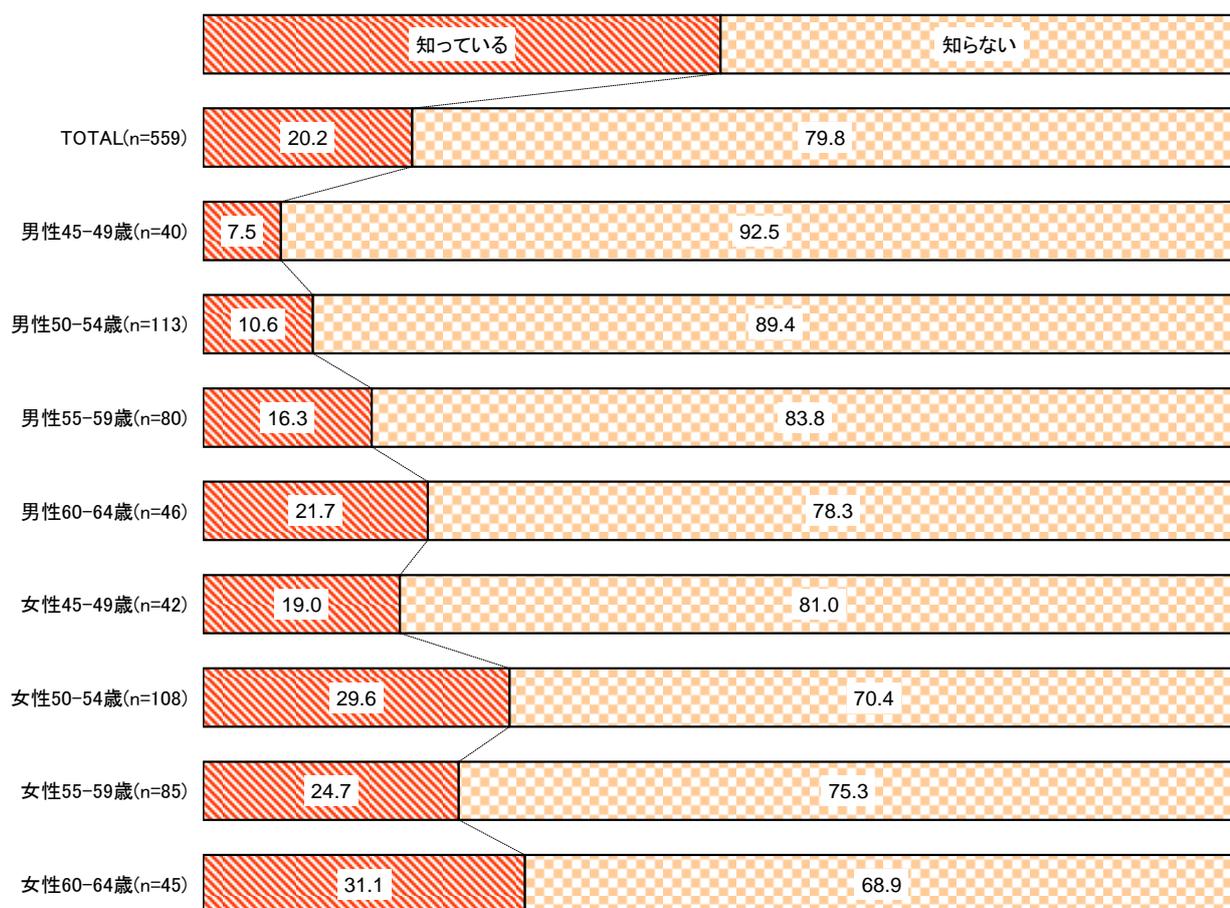
図表 2.4.3 地域包括支援センターについての認知内容



最寄りの地域包括支援センターの所在の認知について、性年代別でみると、男性では、年代が上がるほど認知は高くなっており、男性 45-49 歳では「知っている」は 7.5%に対し、男性 60-64 歳では 21.7%となっている。女性では 50-54 歳で「知っている」は 29.6%、女性 60-64 歳で 31.1%と高くなっている。

図表 2.4.4 地域包括支援センターについての認知内容 最寄りの地域包括支援センターの所在 (性年代別)

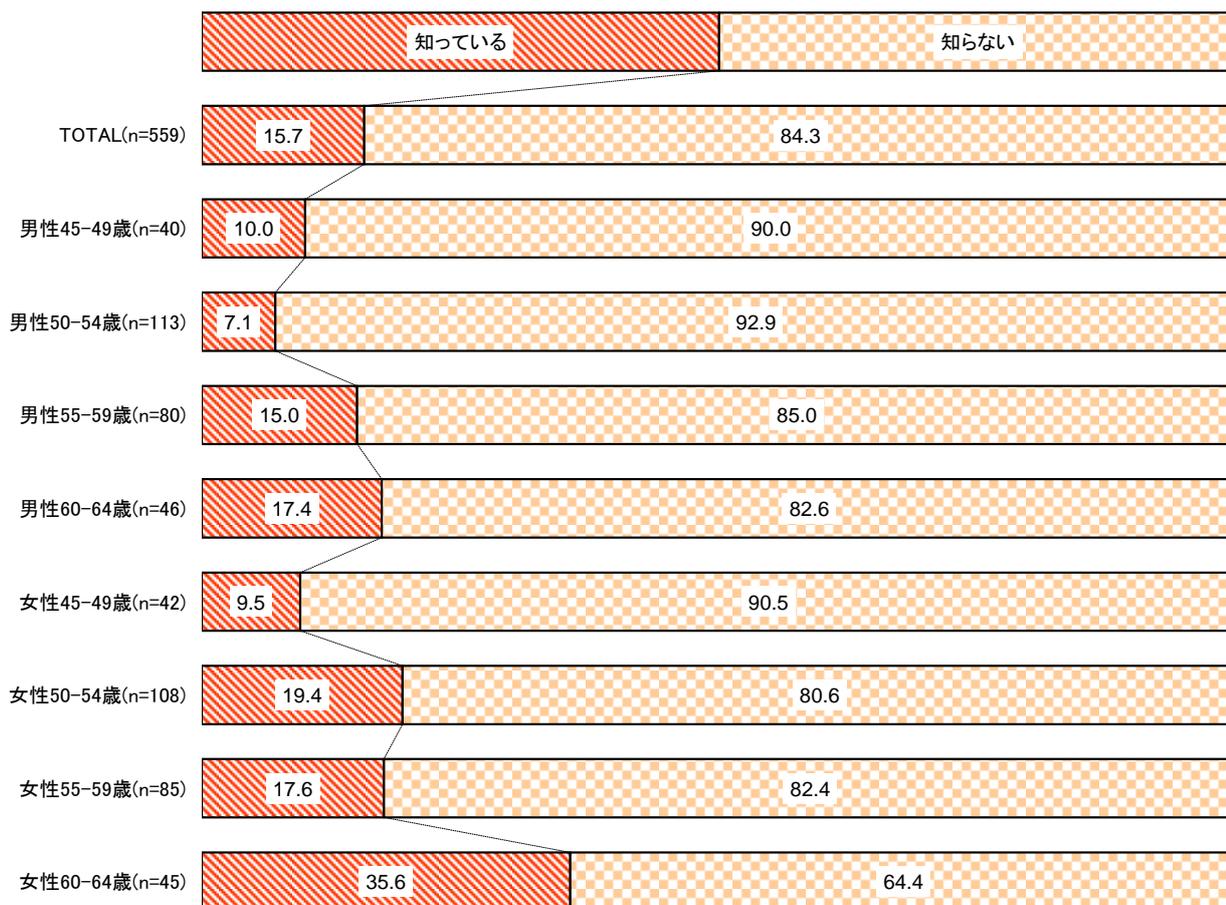
(%)



地域包括支援センターでできることの認知について、性年代別で見ると、男性では50-54歳では「知っている」が7.1%と低くなっている。女性では60-64歳で「知っている」は35.6%と他の性年代より高くなっている。

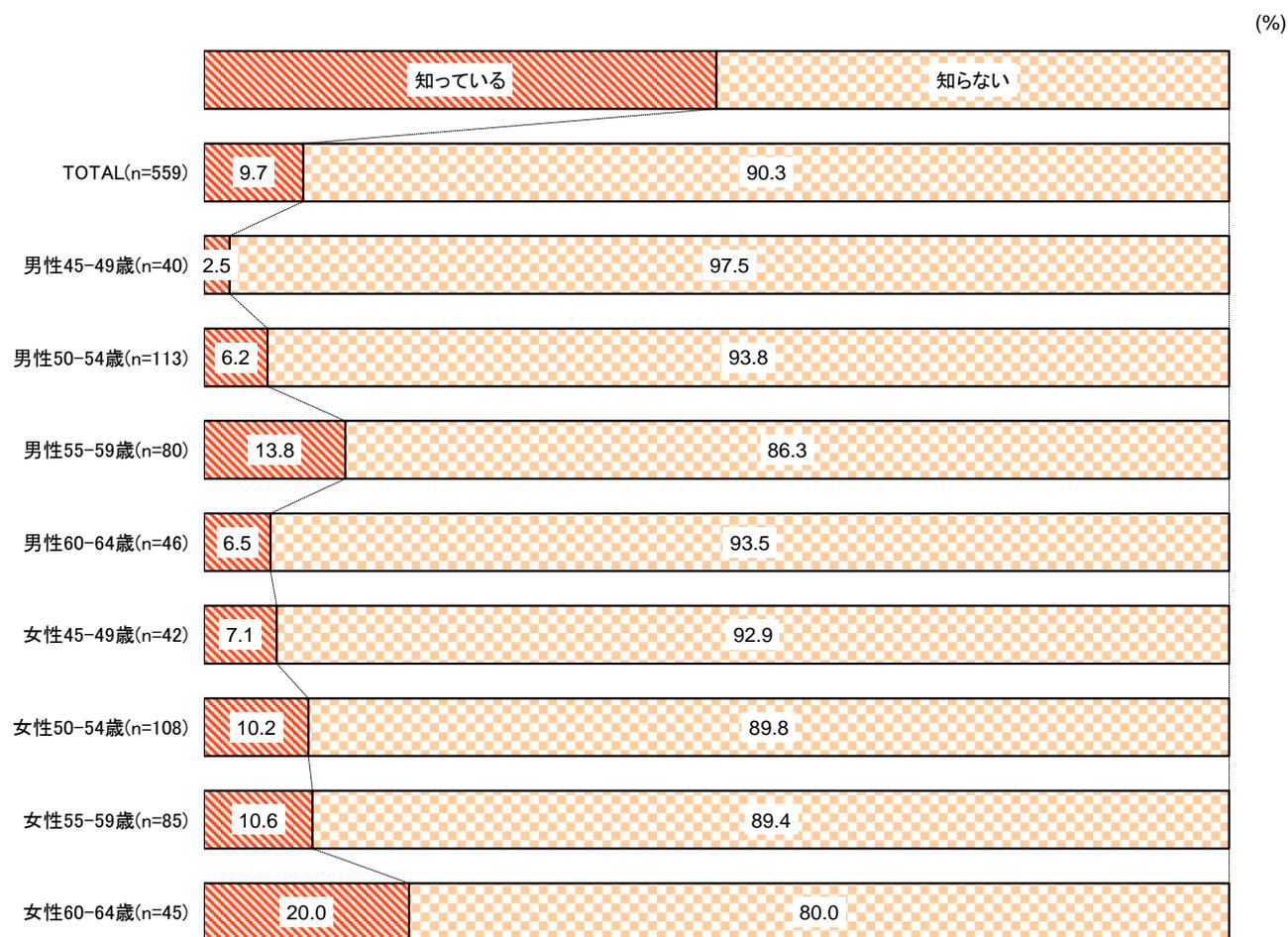
図表 2.4.5 地域包括支援センターについての認知内容 地域包括支援センターでできること (性年代別)

(%)



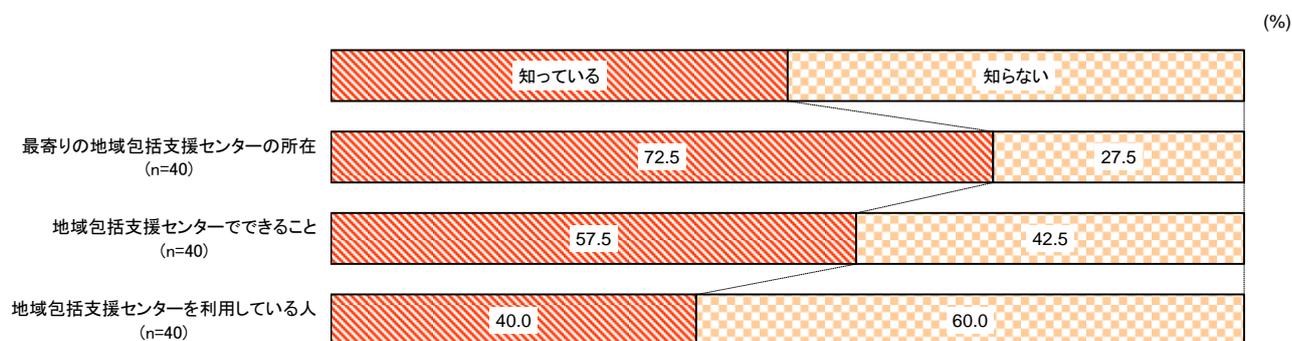
地域包括支援センターを利用している人の認知では、女性 60-64 歳で「知っている」が 20.0%と他の性年代より高くなっている。

図表 2.4.6 地域包括支援センターについての認知内容 地域包括支援センターを利用している人 (性年代別)



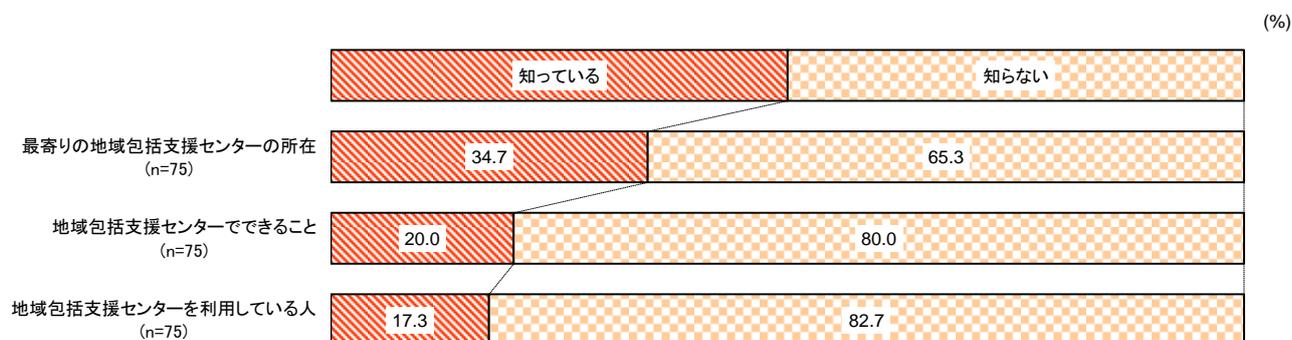
現在介護をしている人では、最寄りの地域包括支援センターの所在を「知っている」が72.5%、地域包括支援センターでできることを「知っている」が57.5%、地域包括支援センターを利用している人を「知っている」が40.0%となっている。

図表 2.4.7 地域包括支援センターについての認知内容【ベース：現在介護をしている人】



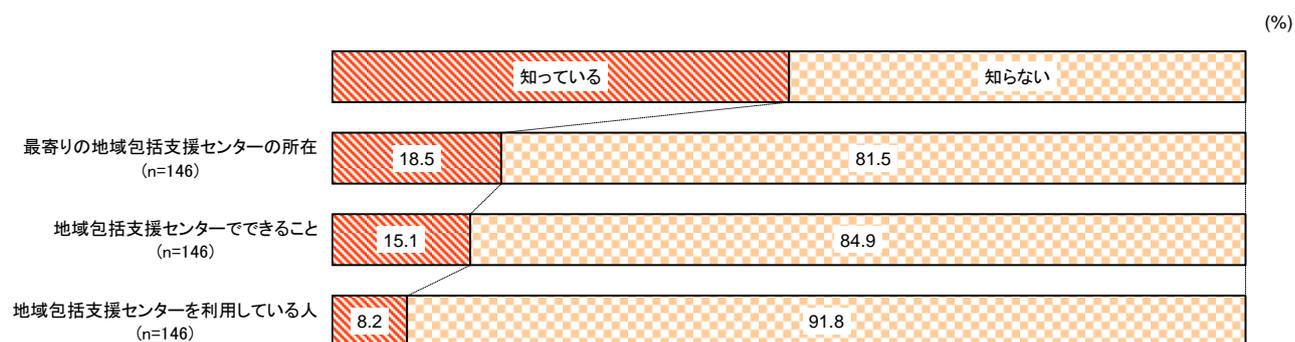
今後介護をする可能性がかなり高い人では、最寄りの地域包括支援センターの所在を「知っている」が34.7%、地域包括支援センターでできることを「知っている」が20.0%、地域包括支援センターを利用している人を「知っている」が17.3%となっている。

図表 2.4.8 地域包括支援センターについての認知内容【ベース：今後介護をする可能性が高い人】



今後介護をする可能性が少しある人では、最寄りの地域包括支援センターの所在を「知っている」が18.5%、地域包括支援センターでできることを「知っている」が15.1%、地域包括支援センターを利用している人を「知っている」が8.2%となっている。

図表 2.4.9 地域包括支援センターについての認知内容【ベース：今後介護をする可能性が少しある人】



5. 退職後の暮らし等

(1) 何歳まで働きたいか

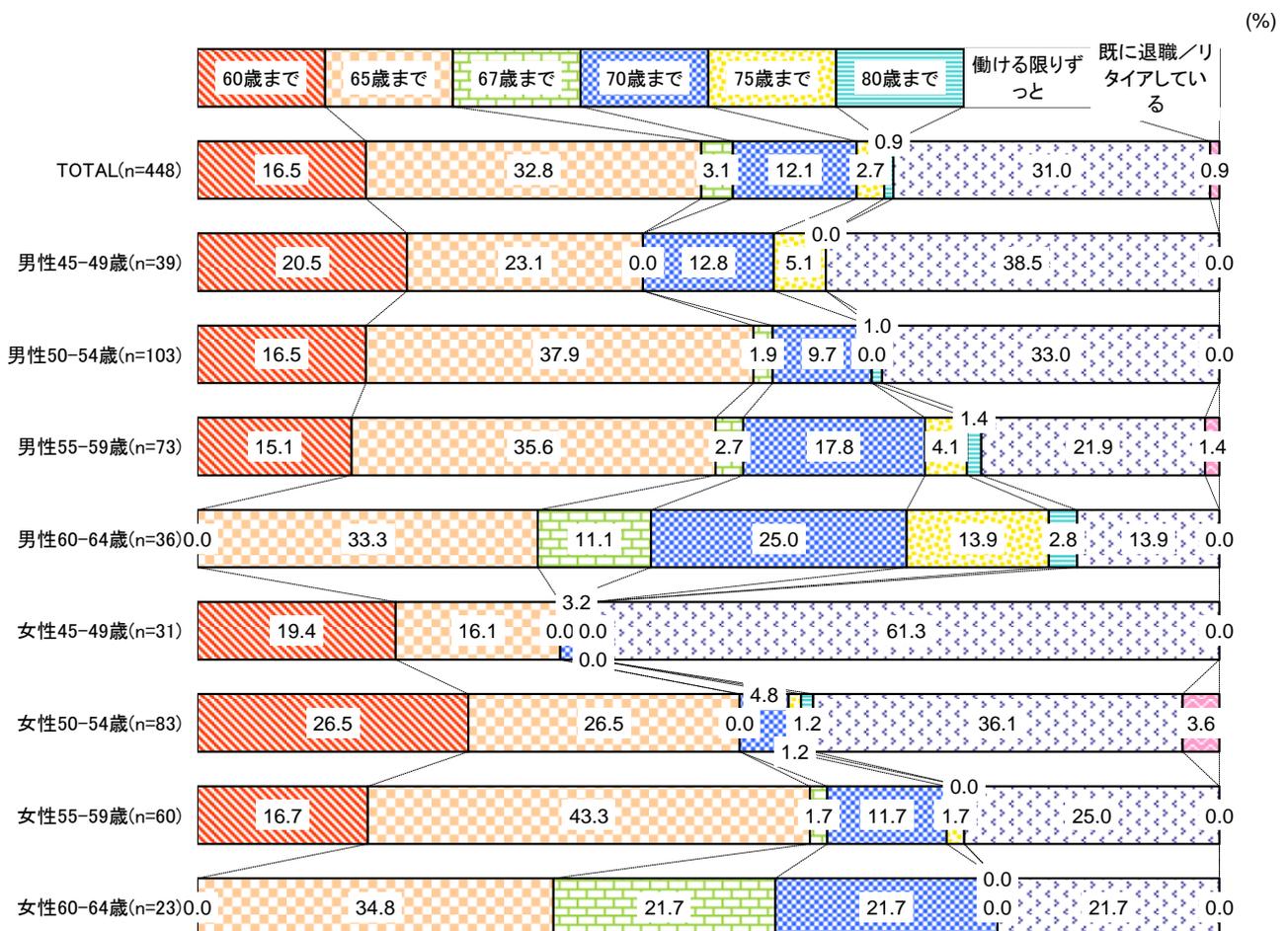
お仕事をされている方におたずねします。

Q18 あなたは何歳まで働きたいと思いますか。(回答は1つ)

現在就労中の人に、何歳まで働きたいかをたずねたところ、「65歳まで」が32.8%と最も高くなっており、また、「働ける限りずっと」も31.0%と3割以上となっている。

性年代別でみると、男性60-64歳では、「65歳まで」が33.3%と最も高くなっているが、次いで「70歳まで」が25.0%と高くなっている。男女とも年代が上がるにつれ、「働ける限りずっと」は減少傾向となっている。

図表 2.5.1 何歳まで働きたいか【ベース：就労者】(性年代別)



(2) 退職後の暮らしについての考え

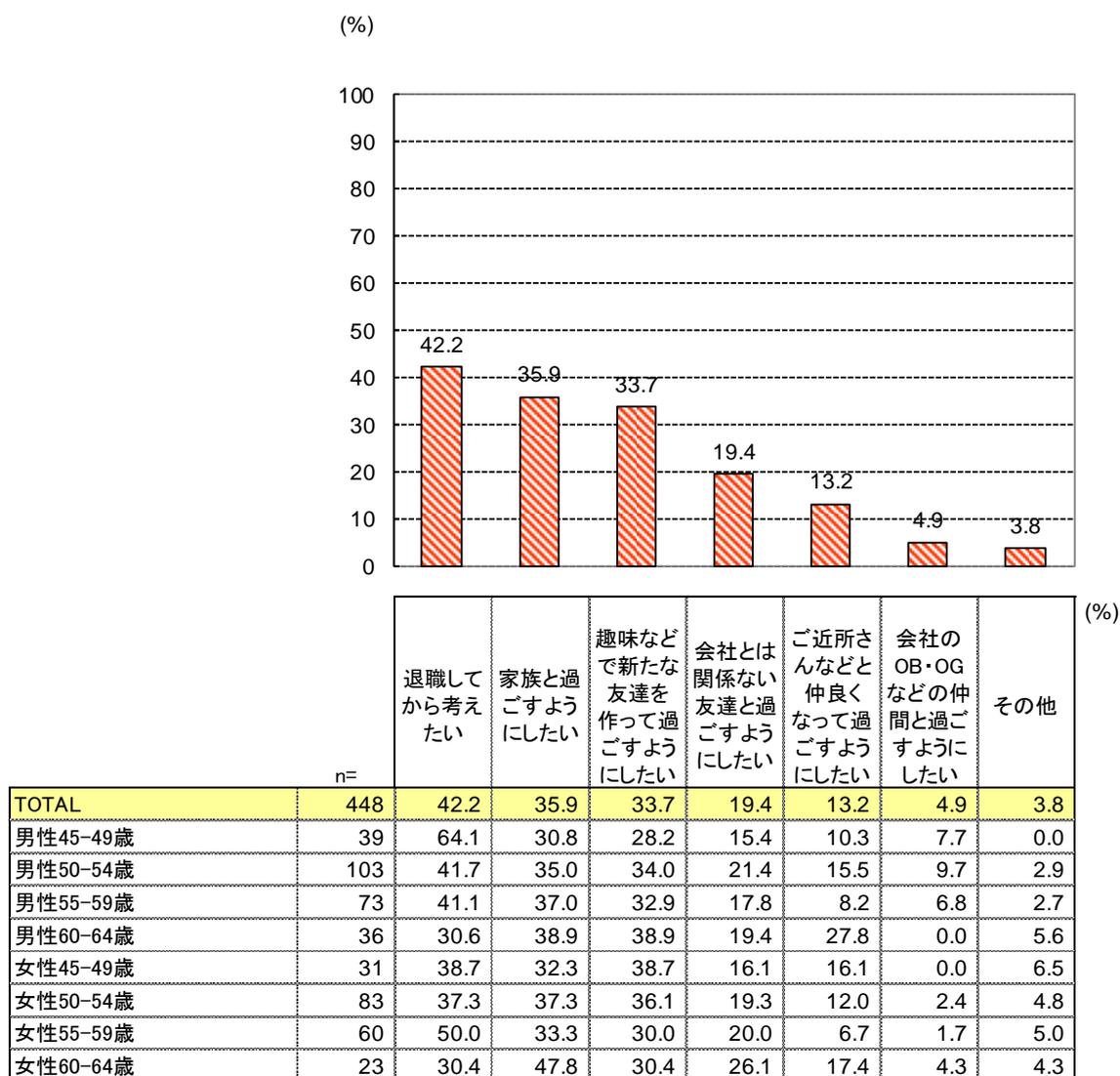
お仕事をされている方におたずねします。

Q19 あなたは退職後の暮らしについてどのようにお考えですか。(回答はいくつでも)

現在就労中の人に退職後の暮らしについてたずねたところ、「退職してから考えたい」が42.2%と最も高く、次いで「家族と過ごすようにしたい」(35.9%)、「趣味などで新たな友達を作って過ごすようにしたい」(33.7%)となっている。

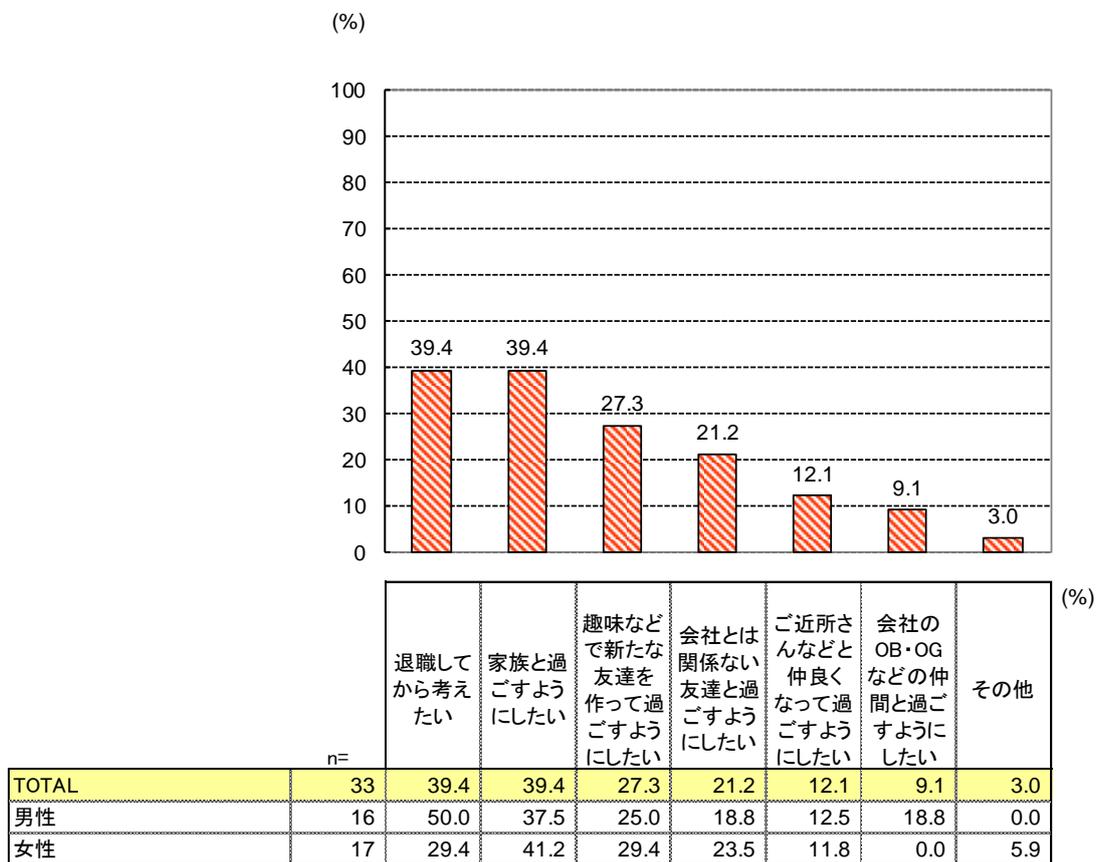
性年代別でみると、男性45-49歳では、「退職してから考えたい」が64.1%と他の性年代より高くなっている。また、男性60-64歳では、「ご近所さんなどと仲良くなって過ごすようにしたい」が27.8%と他の性年代より高くなっている。

図表 2.5.2 退職後の暮らしについての考え(複数回答)【ベース:就労者】(性年代別)



現在介護をしながら就労中の人では、退職後の暮らしについて、「退職してから考えたい」、「家族と過ごすようにしたい」がともに39.4%で最も高くなっている。次いで「趣味などで新たな友達を作って過ごすようにしたい」(27.3%)となっている。

図表 2.5.3 退職後の暮らしについての考え(複数回答)【ベース：介護中の就労者】(性別)



(3) 退職後の地域の集まりや地域活動への参加意向

お仕事をされている方におたずねします。

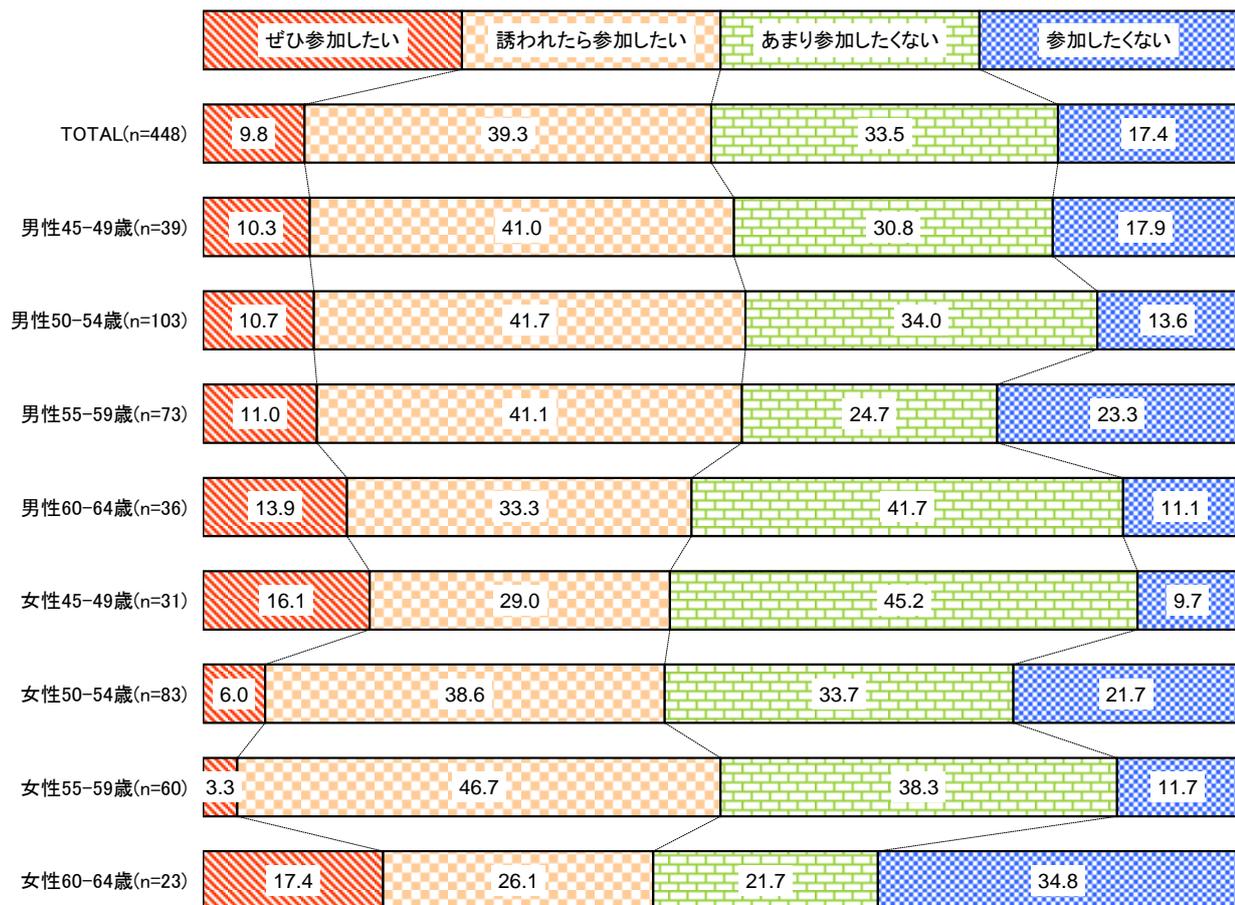
Q20 あなたは退職後は、お住まいの地域の集まりや地域活動に参加されますか。(回答は1つ)

就労している人に、退職後の地域の集まりや地域活動への参加意向をたずねたところ、「ぜひ参加したい」が9.8%、「誘われたら参加したい」が39.3%であり、合わせて49.1%が参加意向ありとなっている。一方、「あまり参加したくない」が33.5%、「参加したくない」が17.4%で合わせて50.9%が参加意向なしとなっている。

性年代別でみると、男性では「ぜひ参加したい」が年代が上がるにつれ微増している。一方、女性では55-59歳で「ぜひ参加したい」が3.3%と他の性年代と比べ最も低くなっているが、「誘われたら参加したい」は最も高くなっている。

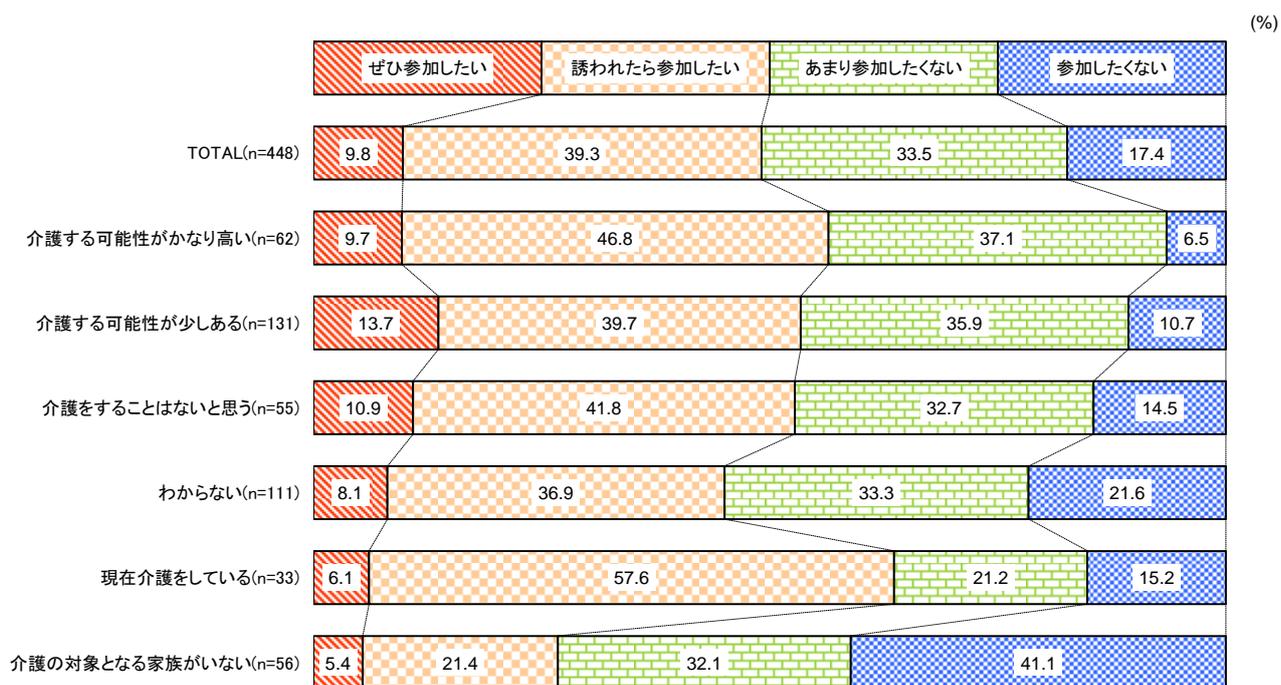
図表 2.5.4 退職後、お住まいの地域の集まりや地域活動への参加意向【ベース：就労者】
(性年代別)

(%)



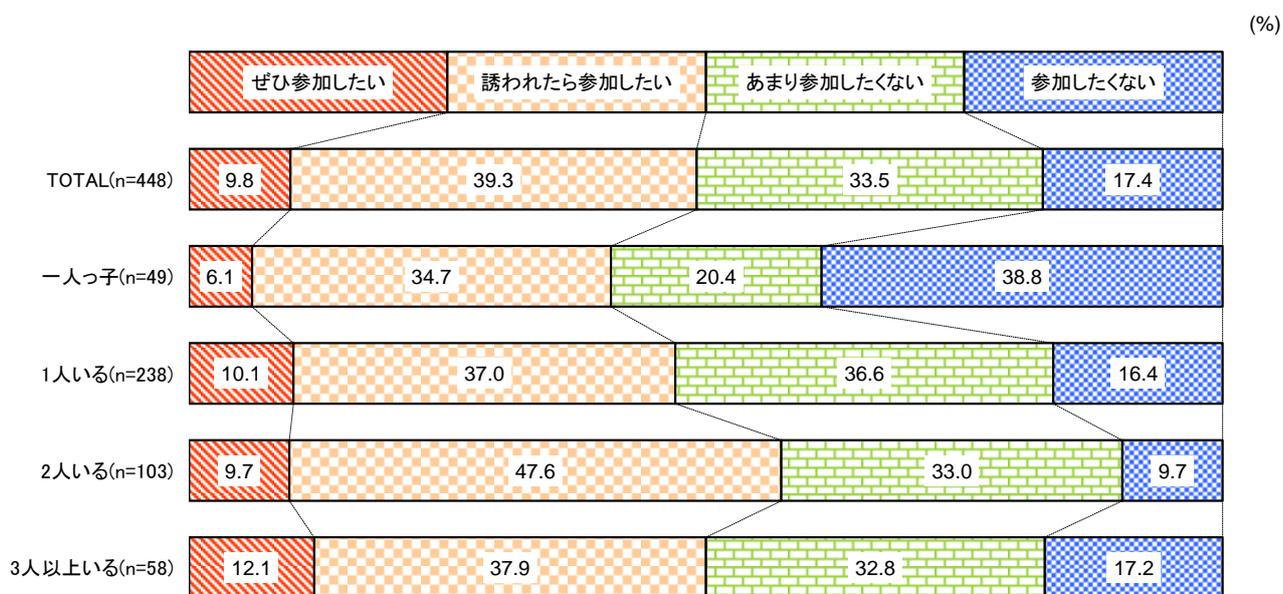
今後の介護の可能性別にみると、現在介護をしている人では、「誘われたら参加したい」が57.6%と最も高くなっている。一方、介護の対象となる家族がない人では、「参加したくない」が41.1%と最も高くなっている。

図表 2.5.5 退職後、お住まいの地域の集まりや地域活動への参加意向【ベース：就労者】
(今後の介護の可能性別)



兄弟姉妹の有無別にみると、“一人っ子”では、「参加したくない」が38.8%と最も高くなっている。兄弟姉妹が“2人いる”人では、「誘われたらぜひ参加したい」が47.6%と最も高くなっている。

図表 2.5.6 退職後、お住まいの地域の集まりや地域活動への参加意向【ベース：就労者】
(兄弟姉妹の有無別)



第3章 資料編

1. 調査票

生活と介護に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートには介護に関する質問が含まれます。

ご回答いただいた内容により、個人が特定されることはありません。
アンケートの回答はすべて個人が特定できないよう処理をしたうえで使用させていただきます。

また、アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

Q1 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

男性

女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

才

Q3 あなたには兄弟姉妹はいらっしゃいますか。

(回答は1つ)

- 一人っ子
- 1人いる
- 2人いる
- 3人以上いる

Q4 あなたは、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

(回答は1つ)

- している
- 不定期にしている
- していない

Q5 あなたは「介護保険制度」について、どの程度ご存知ですか。

(回答は1つ)

- 現在利用中で、制度の概要は理解している
- 実際の利用はしていないが、制度の概要は理解している
- 制度があることは知っているが、どのようなサービスが受けられるのか中身がよくわからない
- 制度があることは知っているが、どうすればサービスが受けられるのか手続きや相談先がよくわからない
- 介護保険制度については、名前は聞いたことがあるが、ほとんど知らない
- 名前も聞いたことがない

Q6 あなたは、近いうち(今後5年くらいの間)に家族等の介護をすることになると思いますか。

(回答は1つ)

- 介護する可能性がかなり高い
- 介護する可能性が少しある
- 介護をすることはないと思う
- わからない
- 現在介護をしている
- 介護の対象となる家族がいない

Q7 あなたが現在、または将来、介護をすることになると思われる相手はどなたですか。

(回答は、いくつでも)

あなたの親

あなたの配偶者

あなたの配偶者の親

あなたの兄弟姉妹

その他 具体的に：

わからない

Q8

あなたの家族等に介護が必要な状態になった場合、どのような介護をしたいと思いますか。(現在、家族等の介護をしている場合は、どのような介護をしていますか)。

(回答は1つ)

- 介護保険サービスを利用しながら在宅での介護
- 介護保険サービスを利用しないで、家族のみによる在宅での介護
- 老人ホームなどの介護施設に入所
- サービス付き高齢者向け住宅に入居
- その他 具体的に：
- 介護の対象となる家族がない
- わからない

Q9

あなたは家族等の介護をすることについて、不安を感じますか。

(回答は1つ)

- 非常に不安を感じる
- 不安を感じる
- 少し不安を感じる
- 不安を感じない
- わからない

Q10 あなたは、介護について次にお示しするうち、どのようなことに不安を感じますか。

(回答は、いくつでも)

- 家族等が要介護者となった場合、どのような状態になるのか予想がつかないので、漠然とした不安がある
- 家族等の介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくい
- 子育てと介護の両方を行うこと（ダブルケア）への不安がある
- 家族間で介護の役割分担や在り方について、話し合う機会がない・ほとんどない
- 自分のほかに介護を分担してくれる家族がない
- 医療や介護に係る費用の見通しがわからず、経済的な不安がある
- 介護と仕事を両立できるかわからない
- 介護保険制度の仕組みがわからない
- 適切な介護保険サービスを受けられるかどうかわからない
- 住んでいる地域の介護保険サービスに関する相談先がわからない
- その他 具体的に：

Q11 あなたは、勤務先で介護について相談するとき、どなたに相談しますか。（現在、介護をしていない方は、介護が必要となった場合を想定してお答えください。なお、相談を受けることは除いてお答えください。）

(回答は、いくつでも)

- 勤務先の上司
- 勤務先の同僚（上司を除く）
- 勤務先の人事担当者
- 勤務先の労働組合
- 勤務先が提供する外部の相談窓口
- その他 具体的に：
- 勤務先で相談する人はいない

Q12

あなたは、家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で仕事を続けることができますか。
(現在、家族等の介護をしながら、仕事を続けている場合は、「続けられると思う(続けている)」に回答してください。)

(回答は1つ)

続けられると思う (続けている)

続けられないと思う

わからない

Q13

あなたは、家族等の介護をすることになった場合、どのような条件があったら仕事を辞めずに続けられると思いますか。

(回答は、いくつでも)

要介護者が施設等に入所し、自宅で介護をする必要がなければ続けられると思う

介護保険サービスが十分に受けられれば、仕事を続けられると思う

介護保険サービス以外の支援 (家族、民間サービス、となり近所等) があれば続けられると思う

在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができれば続けられると思う

短時間勤務や職場異動などで仕事の負荷が軽くなれば、続けられると思う

介護から離れて、気分転換したり、からだを休ませるなど、自分自身の心とからだをケアできれば続けられると思う

その他 具体的に：

仕事よりも介護を優先したいので、条件に関わらず仕事をやめて介護に専念する

現在お仕事をされていて、今後、介護を担う可能性があるとお答えの方におたずねします。

Q14 あなたが介護を担うことになった際、あなたはどのような人に介護や家事を支援してもらおうと思いますか。

(回答は1つでも)

- 同居の家族
- 別居の家族
- となり近所
- 知人・友人
- 公的な介護保険サービス（ケアマネジャー、ホームヘルパー等）
- 家政婦等の民間サービス
- 自治体の介護担当窓口や民生委員など
- 社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体などの市民活動団体
- その他 具体的に：
- わからない
- 誰の支援も求めない

Q15 家族等の介護をすることになった場合、現在の勤務先で仕事を続ける上で、不安に思うことは何ですか。（現在、家族等の介護をしている場合は、仕事を続けている上で、不安に思っていることは何ですか。）

(回答は1つでも)

- 勤務先に介護に関わる支援制度がない、もしくはわからない
- 勤務先に介護に関わる支援制度はあっても、利用しにくい雰囲気がある
- 勤務先や職場に介護について相談する人がいない
- 職場に介護休業などを取得している人がいない
- 介護と仕事を両立させる際に、勤務先や上司の理解が得られない
- 代替要員がおらず、介護のために仕事を休めない
- 労働時間が長い
- 介護と仕事を両立させると、昇進・昇格に影響が出る可能性がある
- 介護休業を取得すると収入が減る
- その他 具体的に：
- 不安に思うことはない

Q16 「介護保険」についてどのようなことを知っていますか。

(回答はいくつでも)

- 介護保険サービスを受けるには、要介護認定を受ける必要がある
- 身体の状況が変化した場合は、認定期間の更新前でも要介護認定を受け直すことができる
- 介護状態により要支援1・2、要介護1～5の7段階があり、それぞれの要介護度別にサービス利用限度額が決まっている
- 要支援と要介護では、利用できるサービスの種類に違いがある
- 要支援や要介護状態となる認定手前の段階で参加できる介護予防の取り組みがある
- ケアプランは、原則として要支援の人に対しては地域包括支援センター、要介護の人に対しては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当する
- ケアプランは変更することができる
- 介護保険サービス提供事業者は自由に選ぶことができる
- 介護事業者の特徴を比較できるように、介護保険サービス情報の公表制度がある
- 介護保険サービスを利用するには、事業者との契約が必要である
- 介護保険サービスを利用したときは、サービス利用料の1割または2割を自己負担する
- 40歳以上の方が介護保険料を負担する
- 地域包括支援センターは地域の高齢者の総合相談窓口として、介護の相談を受け付けている
- どれも知らない

Q17 あなたは、地域包括支援センターについてどのようなことをご存知ですか。

(回答は1つ)

1/3

最寄りの地域包括支援センターの所在

知っている

知らない

次を表示

2/3

地域包括支援センターでできること

3/3

地域包括支援センターを利用している人

お仕事をされている方におたずねします。

Q18 あなたは何歳まで働きたいと思いますか。

(回答は1つ)

- 60歳まで
- 65歳まで
- 67歳まで
- 70歳まで
- 75歳まで
- 80歳まで
- 働ける限りずっと
- 既に退職/リタイアしている

お仕事をされている方におたずねします。

Q19 あなたは退職後の暮らしについてどのようにお考えですか。

(回答はいくつでも)

- 退職してから考えたい
- 会社のOB・OGなどの仲間と過ごすようにしたい
- 会社とは関係ない友達と過ごすようにしたい
- 趣味などで新たな友達を作って過ごすようにしたい
- ご近所さんなどと仲良くなって過ごすようにしたい
- 家族と過ごすようにしたい
- その他 具体的に：

お仕事をされている方におたずねします。

Q20 あなたは退職後は、お住まいの地域の集まりや地域活動に参加されますか。

(回答は1つ)

- ぜひ参加したい
- 誘われたら参加したい
- あまり参加したくない
- 参加したくない

板橋区シニア活動推進計画高齢者ニーズ調査（インターネット調査）報告書

平成 29 年 3 月 発行

発行 板橋区 健康生きがい部 長寿社会推進課
〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
TEL : 03-3579-2371
FAX : 03-3579-2309
ホームページ : <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/>

実施 株式会社インテージリサーチ
〒203-0053 東京都東久留米市本町 1 - 4 - 1
TEL : 042-476-5300
FAX : 042-476-5303
ホームページ : <http://www.intage-research.co.jp/>